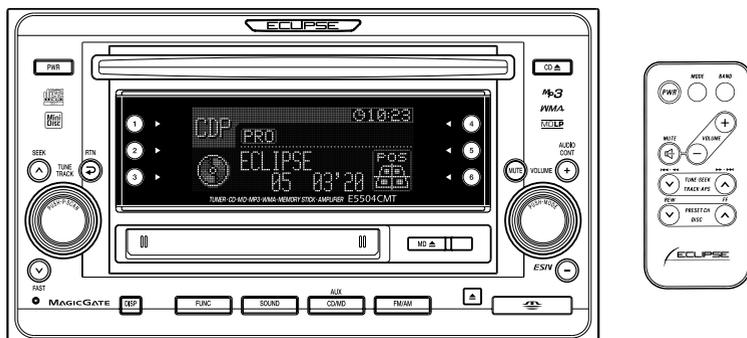


ECLIPSE

マルチコントロール CD/MD/MSメインユニット

E5504CMT

取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この『取扱説明書』をよくお読みください。
また、お読みになった後も、必要なときにすぐご覧になれるよう
大切に保管してください。

FUJITSU TEN

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- **本機はDC12V \ominus アース車用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しない。**
火災の原因となります。
- **事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。**
万一、お子様が飲みこんだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
(ボタン電池)
- **運転者は走行中に音量調節等の操作をしない。**
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **ディスクおよび“メモリースティック”挿入口に異物を入れない。**
火災や感電の原因となります。
- **本機を分解したり、改造しない。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**
発煙、発火、感電の原因となります。
- **リモコンを放置しない。**
停車したときやカーブを曲がる時に、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
- **音が出ないなどの故障状態で使用しない。**
事故、火災、感電の原因となります。

 **警告**

- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。**
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。**
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **運転者は走行中に、CD・MD・“メモリースティック”等の交換をしない。**
前方不注意となり事故などの原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **ビニール袋をかぶらない。**
大きな事故や窒息死の原因となります。

 **注意**

- **本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。**
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- **ディスクおよび“メモリースティック”挿入口に手や指を入れないでください。**
けがの原因となることがあります。
- **アンプ放熱部(背面部)に手を触れないでください。**
放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- **乾電池は充電しないでください。**
電池の破裂により、けがの原因となることがあります。
- **指定の電池以外は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。**
電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となります。
- **電池を機器内に挿入する場合は、極性〈プラス+・マイナス-〉に注意し、表示通りに入れてください。**
電池の極性を間違えると破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

 **注意**

- **使い切った電池はすぐに交換してください。**
液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。
- **アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときはきれいな水で洗った後ただちに医師の治療を受けてください。**
- **リチウム乾電池を廃棄する場合は、プラス・マイナス端子に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。**
他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。
- **電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れてください。**
電池の破裂、液漏れにより火災やけがの原因となることがあります。
- **リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。**
ケースの変形、内部電池の破裂、液漏れの原因となることがあります。
- **本機を車載用として以外は使用しないでください。**
感電やけがの原因となることがあります。
- **電源ON時は、ボリュームの位置に注意してください。**
電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- **音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。**
火災の原因となることがあります。
- **長時間歪んだ状態で使用しないでください。**
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- **本機は不可視レーザー光を使用しています。本機の分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。**
本機の改造は、危険なレーザー放射の被爆(視力低下の原因)をもたせたり、事故・火災・感電の原因となることがあります。
- **万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。**
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

目次

使用上のご注意	12
本機をお使いになるうえでのお願い	12
CDについて	14
CDの清掃	16
MDについて	17
MDの清掃	17
“メモリースティック” について	18
“メモリースティック” の清掃	19
各部の名称	20
基本操作	21
電源を入れる/切る	21
CDを聞く	22
MDを聞く	23
“メモリースティック” を聞く	24
ラジオを聞く	25
音量を調節する	26
瞬時に音量を小さくする	26
オーディオコントロールモードを切り換える	26
VOL(VOLUME)モード	27
BASSモード	27
TREB(TREBLE)モード	27
BAL(BALANCE)モード	27
FAD(FADER)モード	27
NON-F(Non-FADER)モード	27
SVC(Source Volume Control)モード	28
LOUDNESSを切り換える	29

ディスプレイ調整モードでの設定	30
ディスプレイ表示パターンの切り換え	31
モーションピクチャの切り換え	32
明るさの調整	33
ディスプレイ表示 ON/OFF	33
ファンクションモードでの設定	34
ガイドトーン ON/OFF	35
時計表示 ON/OFF	36
時刻の調整	37
デモモード表示 ON/OFF	38
操作アシスト機能について	39

CD部/MD部の操作 40

CD/MDを聞く	40
次の曲に進む/曲の頭に戻る	41
早送り・早戻しする	41
曲の始まりを演奏する(SCAN)	41
繰り返し演奏する(REPEAT)	41
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)	42
MDLPモードでグループ編集されたMDの操作	43
次のグループに進む/前のグループに戻る	43
曲の始まりを演奏する(グループSCAN)	43
繰り返し演奏する(グループREPEAT)	43
曲の順番を変えて演奏する(グループRANDOM)	43
CDのタイトルを設定する	44
設定したタイトルを変更する	46
設定したタイトルを削除する	47
CD TEXT、MD演奏時の表示を切り換える	48
ディスクを取り出す	49

MP3/WMAの操作 50

MP3/WMAについて	50
MP3/WMAとは?	50
再生可能なMP3ファイルの規格について	50
再生可能なWMAファイルの規格について	50
ID3/WMAタグについて	51
使用できるメディアについて	51
使用できるディスクのフォーマットについて	51
ファイル名について	52
マルチセッションについて	53
MP3/WMAの再生について	53
MP3/WMAの演奏時間表示について	53
MP3/WMAファイル、フォルダの演奏順番	53
MP3/WMAを聞く	54
次のファイルに進む/ファイルの頭に戻る	55
次のフォルダに進む/前のフォルダに戻る	55
早送り・早戻しする	55
ルートディレクトリへ戻る	55
曲の始まりを演奏する(SCAN)	56
繰り返し演奏する(REPEAT)	56
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)	57
MP3/WMA演奏時の表示を切り換える	57

“メモリースティック” 部の操作 58

“メモリースティック” を聞く	58
次の曲に進む/曲の頭に戻る	59
早送り・早戻しする	59
曲の始まりを演奏する(SCAN)	59
繰り返し演奏する(REPEAT)	59
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)	60

“メモリースティック”へ録音する	61
録音方式の設定.....	62
“メモリースティック”をフォーマットする	64
ファイルを消去する.....	66
“メモリースティック”演奏時の表示を切り換える	67
“メモリースティック”を取り出す	67

ラジオ部の操作 68

ラジオを聞く	68
自動的に放送局を記憶させる	69
手動で放送局を記憶させる	69
記憶させた放送局を確認する	70
放送局名を表示する(放送局のエリア設定)	70
FM放送について	72
FM電波の直進性	72
フェードアウト	72
FM放送のサービスエリア	73
マルチパス	73

サウンド調整モードの操作 74

サウンド調整モードについて.....	74
グラフィックイコライザ	75
パラメトリックイコライザ	75
タイムアライメント	77
クロスオーバー	78
マルチハーモナイザ	79
NON-FADERフェーズ	79
E-iSERV連携音響カスタマイズ	80
サウンド調整モードの切り換え(通常モード↔プロモード)	82
サウンド調整モード(通常モード)での操作	83
イコライザの設定(EQ)	84
簡易タイムアライメントの設定(TimeAlignment)	88

クロスオーバーの設定(X-Over)	93
マルチハーモナイザの設定(Harmonizer)	94
ノンフェダーフェーズの切り換え(Non-F Phase)	95
サウンド調整モードの切り換え(通常モード↔プロモード)	96
サウンド調整モード(プロモード)での操作	97
パラメトリックイコライザの設定(PEQ)	98
タイムアライメントの設定(TimeAlignment)	104
クロスオーバーの設定(X-Over)	106
マルチハーモナイザの設定(Harmonizer)	107
ノンフェダーフェーズの切り換え(Non-F Phase)	108
データの書き出し/取り込み	108
音質データの書き出し	108
音質データの取り込み	110

ESNセキュリティーの操作 112

ESNについて	112
セキュリティータイプ(Key CDセキュリティー、 “メモリースティック”セキュリティー)の切り換え	113
ESN(Key CDセキュリティー)の操作	114
Key CDの登録	114
Key CD登録の解除	115
Key CDの変更	115
動作ロック状態の解除	116
ESN(“メモリースティック”セキュリティー)の操作	117
暗証番号の登録	117
“メモリースティック”セキュリティーの解除	118
暗証番号の変更.....	120
動作ロック状態の解除	120
ACCセキュリティーの設定	124
セキュリティーインジケータの表示	125
電子シリアルナンバー(Electronic Serial Number)の表示	125

(別売)CDオートチェンジャー/MDチェンジャーを 接続したときの操作 126

CDオートチェンジャー/MDチェンジャーモードに切り換える	126
次の曲に進む/曲の頭に戻る	127
早送り・早戻しする	127
曲の始まりを演奏する(SCAN)	127
繰り返し演奏する(REPEAT)	127
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)	128
次のディスクに進む/前のディスクに戻る	129
演奏するディスクを指定する	129
CDのタイトルを設定する	130
設定したタイトルを変更する	132
設定したタイトルを削除する	133
MD演奏時の表示を切り換える	133

リモコンの操作 134

使用上の注意	134
清掃について	134
電源を入れる/切る	135
音量を調節する	135
瞬時に音量を下げる(ミュート)	135
機能を切り換える	135
ラジオ利用時の操作	136
FM/AMを切り換える	136
放送局を選ぶ(自動・手動)	136
記憶済みの放送局を選ぶ	136
CD、MD利用時の操作	137
次の曲に進む/曲の頭に戻る	137
次のディスクに進む/前のディスクに戻る	137
ディスクモードを切り換える	137
電池を交換する	138

その他の操作	139
ポータブルオーディオ機器をAUX端子に接続する	139
困ったときは	140
インフォメーションが点滅する	141
仕様について	147
アフターサービスについて	149

使用上のご注意



走行中のオーディオ操作は、運転に支障がないように安全には十分注意して行ってください。

本機をお使いになるうえでのお願い

- ・安全のため運転中の音量は車外の音が聞こえる範囲でお楽しみください。



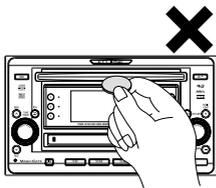
- ・本機は左のマークのついたCDのご使用をお勧めします。



- ・本機は音楽専用のCD-R(CD-Recordable)/CD-RW(CD-Rewritable)の再生が可能です。必ずファイナライズ処理したものをご使用ください。ただし、編集された機器により、再生できない場合があります。



- ・本機はMDLP(LP2モード/LP4モード)に対応しています。



- ・ディスクおよび“メモリースティック”挿入口には、コインやキャッシュカードなどディスクおよび“メモリースティック”以外の異物を絶対に入れてください。特にお子さまのいたずらに注意してください。

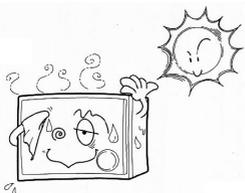




- ・悪路を走行中、激しく振動した場合、音が途切れる(音とび)ことがあります。このようなときは、路面のよい道路に出てからあらためて本機をご使用ください。



- ・寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露(水滴)が生ずることがあります。(結露現象)この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。



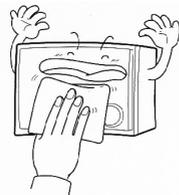
- ・夏期は車内温度が高くなるので、車内の温度を下げてから本機をお使いください。



- ・湿気に注意してください。本機に液体が入ったり、かかるといふ故障や破損の原因となります。本機周辺にセットしてあるドリンクホルダー内の飲み物などには特にご注意ください。



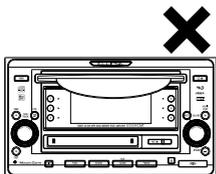
- ・本機内部は、精密な構造になっているので、分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。



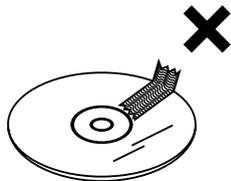
- ・本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。

CDについて

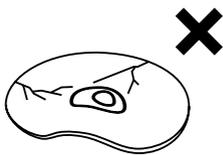
記憶された信号は、ディスクに直接触れることなくレーザー光線によって読み取ります。信号面やラベル面にキズがついていたり、大きくそったディスクは音質の低下や音とびの原因になります。いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



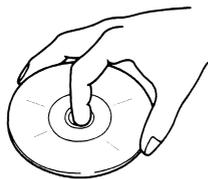
- ・ディスクをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。その原因になります。
ディスクは必ずケースに入れて、直射日光の当たる場所や高温・多湿の場所をさけて保存してください。



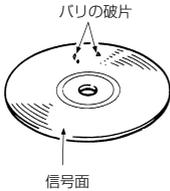
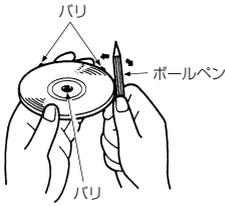
- ・CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



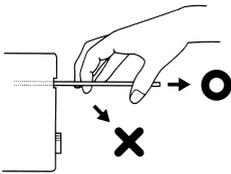
- ・ディスクはデッキ内部で高速回転します。ヒビがはいったり、そりが大きいディスクはCDデッキの故障の原因となりますので使用しないでください。



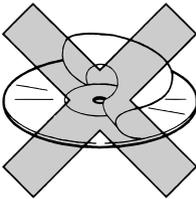
- ・信号面に触れないように取り扱いってください。



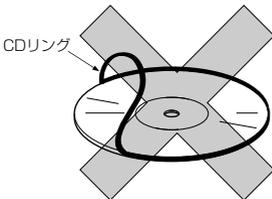
- ・新しいCDをご使用になると、CDのセンターホールや外周部にバリがあることがあります。バリがついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。バリがついているCDを使用すると、デッキに入らなかったり、使用中にバリの破片がCDの信号面に付着し、音とびをしたりする場合があります。



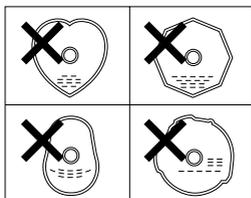
- ・本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながら引き出すとCD記録面にキズをつける原因となります。



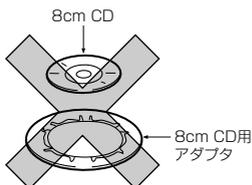
- ・音質向上やCD保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）、またCDラベルなどは使用しないでください。CDの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。



- ・音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリ（CDリング、プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



・ハート形や八角形など特殊形状のCDは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

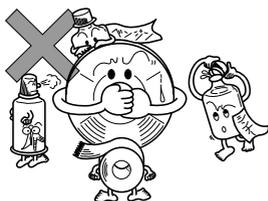


・本機では、8cmCDをアダプターなしで再生できません。
 ・8cmCDにシングルアダプターを付けてディスクを再生すると、誤動作することがありますので使用しないでください。

CDの清掃



・ディスクが汚れたときは、市販のコンパクトディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。



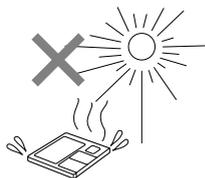
・ベンジン、シンナー、LP用スプレーやクリーナーなどは使用しないでください。



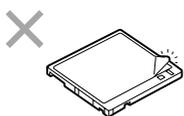
・ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので時々掃除してください。ホコリがたまった状態でディスクを挿入すると、ディスクにキズがつくことがあります。

MDについて

いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



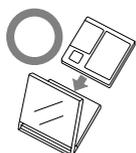
- ・MDは直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。MDが反り、使用できなくなる恐れがあります。



- ・ラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってあるMDは使用しないでください。



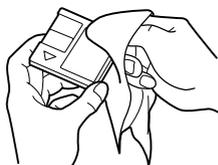
- ・MDのシャッターは、手で開けないでください。



- ・MDは、ケースに入れて保管してください。

MDの清掃

- ・ベンジンやシンナーなどを使用すると、ケースや塗装が変質するので使用しないでください。



- ・MDのカートリッジ部表面についたホコリやゴミなどは乾いた布で拭き取ってください。

- ・ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので、ときどき掃除してください。

“メモリースティック”について

MAGICGATE

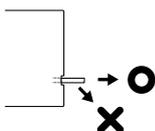
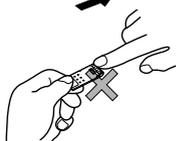
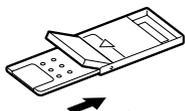
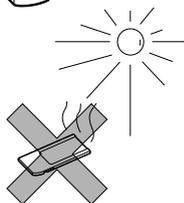


- ・左記のマークの付いた“MG メモリースティック”は使用できません。
- ・左記のマークの付いた“メモリースティック”は本機への音楽データ以外の書き出し、取り込みの場合に使用できません。

“MagicGate Memory Stick” (“マジックゲートメモリースティック”)  “Memory Stick” (“メモリースティック”)  はソニー株式会社の商標です。

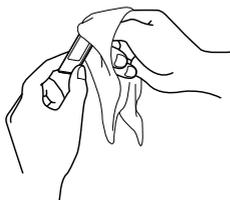
- ・静電気や電氣的ノイズを受ける恐れのある場所に、“メモリースティック”を放置しないでください。データが破損する恐れがあります。
- ・プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- ・“メモリースティック Duo”を使用する場合は、“メモリースティック Duoアダプター”をご使用ください。
- ・128MBまでの容量の“メモリースティック”に対応しています。
- ・“メモリースティック PRO”には対応していません。
- ・“MG メモリースティック”の再生後および“MG メモリースティック”、“メモリースティック”へデータ転送後は、すみやかに“メモリースティック”を取り出してください。
- ・“MG メモリースティック”、“メモリースティック”の誤消去防止スイッチをロックすると録音やデータの保存などができなくなります。
- ・“MG メモリースティック”再生中、または録音中は抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- ・“MG メモリースティック”へ録音中にエンジンスイッチをOFFにしたり、エンジン始動の操作をしないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- ・“MG メモリースティック”のフォーマット(初期化)は、本機で行ってください。本機以外でフォーマットを行った場合、本機で再生、または録音できません。

- ・ “メモリースティック” をフォーマット(初期化)すると内部のデータは全て(セキュリティーの登録内容や、E-iSERVからダウンロードしたデータも含む)消去されるので注意してください。
- ・ 新しくご購入されたばかりの “MG メモリースティック” は、そのままでは使用できない場合があります。その場合は、本機でフォーマットしてください。フォーマットの操作は、「 “メモリースティック” をフォーマットする」(64ページ)を参照してください。
- ・ 録音や、データを保存した機器によっては、再生、またはデータの書き出し、取り込みをすることができない場合があります。
- ・ ラベルがはがれていたり、ネームテープ(ラベル)が貼ってある “メモリースティック” は使用しないでください。



- ・ 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。 “メモリースティック” が使用できなくなる場合があります。
- ・ 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- ・ 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。
- ・ 本機から “メモリースティック” を取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながらかき出すと “メモリースティック” 端子部にキズをつける原因となります。

“メモリースティック” の清掃



- ・ いつもよい音を楽しむため、定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- ・ “メモリースティック” 挿入口はホコリがたまりやすいので、ときどき掃除してください。

各部の名称

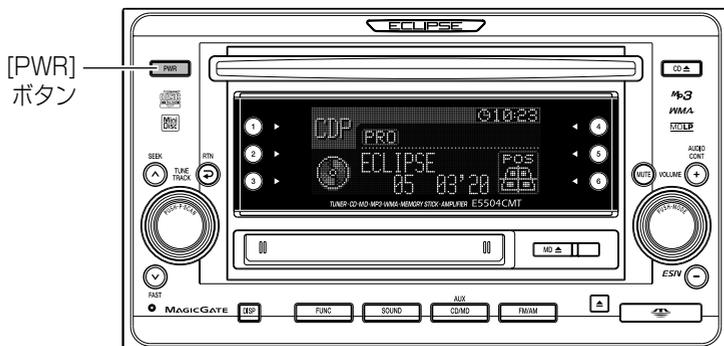
本機のボタンを紹介します。詳細は、各操作の説明を参照してください。(CD部/MD部の操作 40ページ、MP3/WMAの操作 50ページ、“メモリースティック”部の操作 58ページ、ラジオ部の操作 68ページ、サウンド調整モードの操作 74ページ)



①	PWRボタン	電源のON/OFFを行います。
②	∧(SEEK)/V(FAST)ボタン	ラジオの放送局の選択やCD,MD,“メモリースティック”の早送り・早戻しを行います。
③	リセットボタン	記憶させた内容をすべて消去するときに使います。
④	TUNE/TRACKボタン	ラジオの放送局やCD,MD,“メモリースティック”のトラックを選択するときに使います。
⑤	DISPボタン	ディスプレイ調整モードへの切り換えを行います。
⑥	FUNCボタン	ファンクションモードへの切り換えを行います。
⑦	SOUNDボタン	サウンド調整モードへの切り換えを行います。
⑧	CD/MDボタン	ディスクモードの切り換えを行います。
⑨	FM/AMボタン	ラジオのバンド切り換えを行います。
⑩	MD挿入口	MDを挿入します。
⑪	MD▲(MDイジェクト)ボタン	MDを取り出すときに押します。
⑫	▲(“メモリースティック”イジェクト)ボタン	“メモリースティック”を取り出すときに押します。
⑬	“メモリースティック”挿入口	“メモリースティック”を挿入します。
⑭	MODEボタン	ボリュームの調整やオーディオコントロールモードへの切り換えを行います。
⑮	+/- (AUDIO CONT)	オーディオコントロールモードでのレベル調整を行います。
⑯	MUTEボタン	消音または消音の解除を行います。
⑰	CD▲(CDイジェクト)ボタン	CDを取り出すときに押します。
⑱	CD挿入口	CDを挿入します。
⑲	番号ボタン	ラジオのプリセットチャンネルの選択やディスクモードでの操作を行います。
⑳	RTNボタン	各設定モードに戻るときに使います。

基本操作

本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。詳しくは、機能別の説明を参照してください。



電源を入れる/切る

以下の手順で電源を入れたり(ON)、切ったり(OFF)します。
ACCポジションのない車両の場合、電源を切る際注意が必要です。
電源を切るときは、手順2または手順3にしたがって操作してください。

1 電源がOFFの状態で[PWR]ボタンを押す

電源がONになります。



ワンポイント

本機の電源を初めてONにした時、または車両の整備などでバッテリーとの接続が外されて、再度電源をONにした時は、FM1モードで電源がONになります。その後、放送局が自動で選局されて、番号ボタン[1]～[6]に記憶されます。

2 電源がONの状態で[PWR]ボタンを短く(1秒未満)押す

電源がOFFになり、スタンバイ状態となります。

さらに[PWR]ボタンを長めに(1秒以上)押しと、電源がALL OFFになります。

3 電源がONの状態で[PWR]ボタンを長めに(2秒以上)押す

電源がALL OFFになります。



注意

欧州車などACCポジションのない車両の場合、降車の際は必ず[PWR]ボタンを長めに(2秒以上)押し電源をOFFにしてください。
バッテリーが上がる恐れがあります。

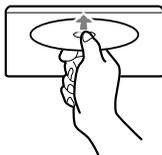


[CD/MD]ボタン

CDを聞く

1 CD挿入口にレーベル面を上にしてCDを挿入する

CDが引き込まれ、自動的に演奏が始まります。



すでにCDが挿入されているときは、CDプレーヤーモードになるまで [CD/MD]ボタンを押してください。

MDを聞く

1 MD挿入口にMDを挿入する

MDが引き込まれ、自動的に演奏が始まります。



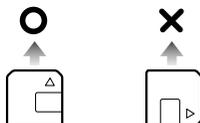
ワンポイント

すでにMDが挿入されているときは、MDプレーヤーモードになるまで [CD/MD] ボタンを押してください。

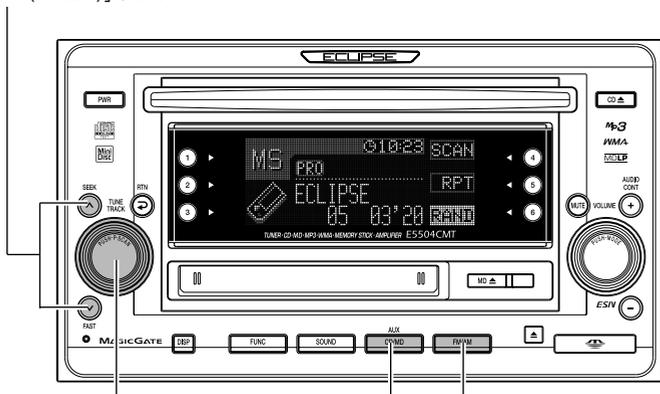


注意

MDの矢印の向きを確認し、ラベル面を上にして挿入してください。



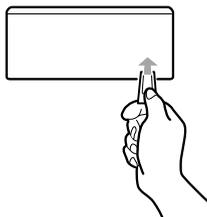
[∧(SEEK)/V(FAST)]ボタン



[TUNE/TRACK]ボタン [CD/MD]ボタン [FM/AM]ボタン

“メモリスティック”を聞く

- 1 “メモリスティック” 挿入口に “メモリスティック” を挿入する



ワンポイント

- ・すでに“メモリスティック”が挿入されているときは、“メモリスティック”プレーヤーモードになるまで[CD/MD]ボタンを押してください。
- ・“メモリスティック”は▶マークを奥にして、「カチッ」と音がするまで挿入してください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は挿入できませんので、無理に力を加えないでください。（“メモリスティック”が数mmほど飛び出した状態になります。）
- ・“メモリスティックDuo”を挿入するときは、必ず“メモリスティックDuo”アダプターを取り付けてから挿入してください。（“メモリスティックDuo”のみを挿入すると取り出せないことがあります。）

- 2 [CD/MD]ボタンを押し “メモリスティック” プレーヤーモードに切り換える

演奏が始まります。

ラジオを聞く

1 [FM/AM]ボタンを押す

ラジオモードに切り換わります。

2 [FM/AM]ボタンを押しFM/AMバンドを切り換える

ボタンを押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

3 [TUNE/TRACK]ボタンを回す

任意の周波数に合わせます。

右に回す ……周波数の高いほうへ移る

左に回す ……周波数の低いほうへ移る

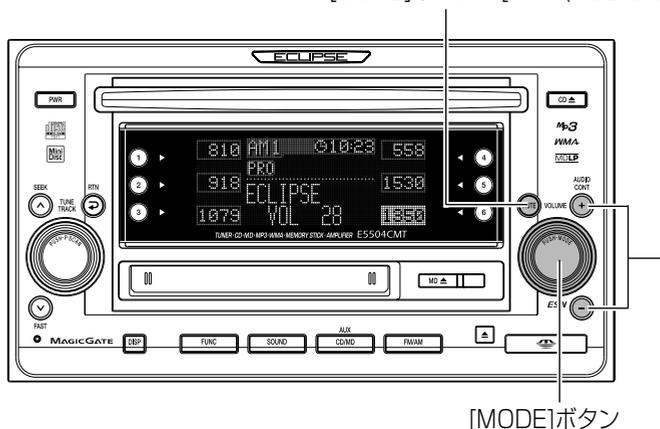
4 [∧(SEEK)/V(FAST)]ボタンを押す

電波の強い放送局を自動的に受信します。

[∧(SEEK)]ボタン ……周波数の高いほうへ選局

[V(FAST)]ボタン ……周波数の低いほうへ選局

[MUTE]ボタン [+/- (AUDIO CONT)]ボタン



[MODE]ボタン

音量を調節する

1 [MODE] ボタンを左右に回す

右に回す ……音量が大きくなる

左に回す ……音量が小さくなる

瞬時に音量を小さくする

1 [MUTE] ボタンを押す

音量を大きくするには、もう一度[MUTE]ボタンを押すか、[MODE]ボタンを右側に回します。

オーディオコントロールモードを切り換える

各モードの微調整をすることができます。

1 [MODE] ボタンを短く(1秒未満)押す

ボタンを押すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。

VOL → BASS*1 → TREB*1 → BAL*2
 ↑ SVC*5 ← NON-F*3,4 ← FAD*2 ←

※1 サウンド調整モードが通常モードの時は、調整することができません。(82ページ参照)

※2 サウンド調整モードがプロモードの時、または通常モードでポジションセレクトがONの時は調整することができません。(89、96ページ参照)

※3 サウンド調整モードがプロモードの時は、調整することができません。(96ページ参照)

※4 ノンフェーダー出力は、BASS、TREBLE、ラウドネス、イコライザでの調整内容を反映しません。

※5 FMモード時は設定することができません。

VOL(VOLUME)モード

VOL(音量)を調整します。

[+/- (AUDIO CONT)]ボタンを押す

[+ (AUDIO CONT)]ボタン ……………音量が大きくなる

[- (AUDIO CONT)]ボタン ……………音量が小さくなる

BASSモード

BASS(低音)を調整します。調整したBASSは、オーディオモードごと(AMラジオ、FMラジオ、CD、MD、“メモリースティック”、MP3/WMA等)で記憶されます。オーディオモードを切り換えると、各モードで調整したBASSで再生します。

[+/- (AUDIO CONT)]ボタンを押す

[+ (AUDIO CONT)]ボタン ……………低音を強調する

[- (AUDIO CONT)]ボタン ……………低音を弱める

TREB(TREBLE)モード

TREBLE(高音)を調整します。調整したTREBLEは、オーディオモードごと(AMラジオ、FMラジオ、CD、MD、“メモリースティック”、MP3/WMA等)で記憶されます。オーディオモードを切り換えると、各モードで調整したTREBLEで再生します。

[+/- (AUDIO CONT)]ボタンを押す

[+ (AUDIO CONT)]ボタン ……………高音を強調する

[- (AUDIO CONT)]ボタン ……………高音を弱める

BAL(BALANCE)モード

左右(BALANCE)のスピーカーのバランスを調整します。

[+/- (AUDIO CONT)]ボタンを押す

[+ (AUDIO CONT)]ボタン ……………右のスピーカーを強調する

[- (AUDIO CONT)]ボタン ……………左のスピーカーを強調する

FAD(FADER)モード

前後(FADER)のスピーカーのバランスを調整します。

[+/- (AUDIO CONT)]ボタンを押す

[+ (AUDIO CONT)]ボタン ……………前のスピーカーを強調する

[- (AUDIO CONT)]ボタン ……………後ろのスピーカーを強調する

NON-F(Non-FADER)モード

ノンフェーダーレベル(接続されたサブウーファなど)を調整します。

[+/- (AUDIO CONT)]ボタンを押す

[+ (AUDIO CONT)]ボタン ……………レベルが大きくなる

[- (AUDIO CONT)]ボタン ……………レベルが小さくなる

[+/- (AUDIO CONT)]ボタン



[MODE]ボタン

SVC (Source Volume Control) モード

オーディオモードごとに音量の差を設定することができます。初期状態のFMモードの音量(初期値：40)を基準に、各オーディオモードで設定したボリューム差が記憶されます。SVCを設定すると下記の設定例のようにボリュームレベルが変化します。

設定例：

オーディオモード	FM	AM	CD	MS
初期値 (ボリュームレベル)	0 (40)	0 (40)	0 (40)	0 (40)
SVC設定 (ボリュームレベル)	基準 (40)	SVC設定値 +15 (55)	SVC設定値 -10 (30)	SVC設定値 +10 (50)
FMモードでボリュームレベル を40→45に調整したとき	45	55→60	30→35	50→55
CDモードでボリュームレベル を35→60に調整したとき	45→70	60→80*	60	55→80
AMモードでボリュームレベル を80→20に調整したとき	70→5	20	60→0*	80→15

*：ボリュームレベルは最大で80、最小で0です。最大・最小値を超える場合は、それ以上、以下には、ボリュームレベルは変化しません。CD/MDチェンジャーのSVCは、CD/MDプレーヤーの設定値で音量が調整されます。

[+/- (AUDIO CONT)]ボタンを押す
[+ (AUDIO CONT)]ボタン ……SVC設定値が大きくなる
[- (AUDIO CONT)]ボタン ……SVC設定値が小さくなる
SVC設定値は-10から+20の範囲で設定してください。



ワンポイント

車両の整備などにより、バッテリーとの接続が断たれた時は、SVCの設定は初期状態に戻ります。この場合、再度設定をしてください。

ラウドネスを切り換える

ラウドネスを設定すると、一定のレベルで低、高音を強調します。小さな音量で聞くとときにラウドネスをONにすると低、高音の不足感が補正されます。

1 「LOUD ON」と表示されるまで[MODE]ボタンを押す



ワンポイント

ラウドネスを解除するときは、同様の操作を行い「LOUD OFF」と表示させます。



警告

自動車の運転中に音量調整等の操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。



[TUNE/TRACK]ボタン [DISP]ボタン

ディスプレイ調整モードでの設定

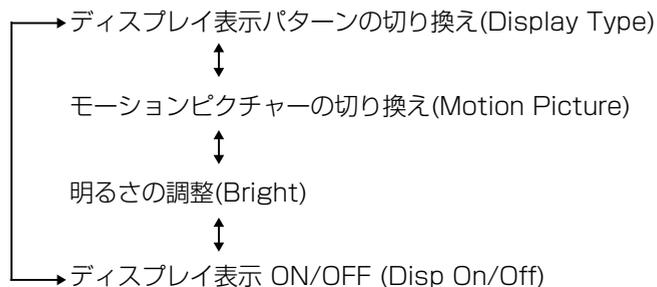
ディスプレイのさまざまな設定を変更することができます。

1 [DISP]ボタンを短く(1秒未満)押す

ディスプレイ調整モードに切り換わります。

2 [TUNE/TRACK]ボタンを回し設定項目を選択する

ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。



3 [TUNE/TRACK]ボタンを押す

各調整モードに切り換わります。

ディスプレイ表示パターンの切り換え

ディスプレイの表示パターンを切り換えることができます。お買い求めになったときは、Type Aに設定されています。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを回しディスプレイの表示パターンを選択する

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。

Type A ↔ Type B

Type A：番号ボタン[1]～[6]の横に、対応する周波数や機能名が表示されます。

Type B：番号ボタン[1]～[6]の横に、ラジオの周波数や機能名は表示されません。

モード	Type A	Type B
ラジオ		
CD		
MD		
MP3/WMA		
“メモリースティック”		
(別売) CDオートチェンジャー		
(別売) MDチェンジャー		

2 [RTN]ボタンを押す

ディスプレイ調整モードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [DISP]、または[RTN]ボタンを押す

ディスプレイ調整モードが解除されます。

(2の時に[DISP]ボタンを押してもディスプレイ調整モードは解除されません。)



[TUNE/TRACK]ボタン [DISP]ボタン

モーションピクチャーの切り換え

本機にあらかじめ用意されているモーションピクチャー(動画)を選択して、ディスプレイに表示することができます。モーションピクチャー表示中、ボタン操作をすると、その時のオーディオ操作画面が表示されます。本機では3種類のモーションピクチャーが用意されています。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを回し表示するモーションピクチャーを選択する

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。

→ OFF (表示なし) ↔ Type A ↔ Type B ↔ Type C

2 [RTN]ボタンを押す

ディスプレイ調整モードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [DISP]、または[RTN]ボタンを押す

ディスプレイ調整モードが解除されます。

(2の時に[DISP]ボタンを押してもディスプレイ調整モードは解除されません。)

明るさの調整

ディスプレイの明るさを調整することができます。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回し調整する

1～5のレベルで設定することができます。

右に回す ……………レベルが大きくなる

左に回す ……………レベルが小さくなる

2 [RTN] ボタンを押す

ディスプレイ調整モードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [DISP]、または[RTN] ボタンを押す

ディスプレイ調整モードが解除されます。

(2の時に[DISP]ボタンを押してもディスプレイ調整モードは解除されません。)

ディスプレイ表示 ON/OFF

ディスプレイ表示のON/OFFを切り換えることができます。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回しON/OFFを切り換える

ボタンを回すごとに、ON/OFFが切り換わり、選択された項目は文字が反転します。

2 [RTN] ボタンを押す

ディスプレイ調整モードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [DISP]、または[RTN] ボタンを押す

ディスプレイ調整モードが解除されます。

(2の時に[DISP]ボタンを押してもディスプレイ調整モードは解除されません。)



ワンポイント

- ・ディスプレイ表示がOFFの時にボタン操作を行うと、6秒間ディスプレイ表示がONになります。
- ・DISP OFFを選択した時点でディスプレイ表示はOFFになりますが、ディスプレイ調整モードは解除されません。ディスプレイ調整モードを解除するには [DISP] ボタンを押してください。



[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン

ファンクションモードでの設定

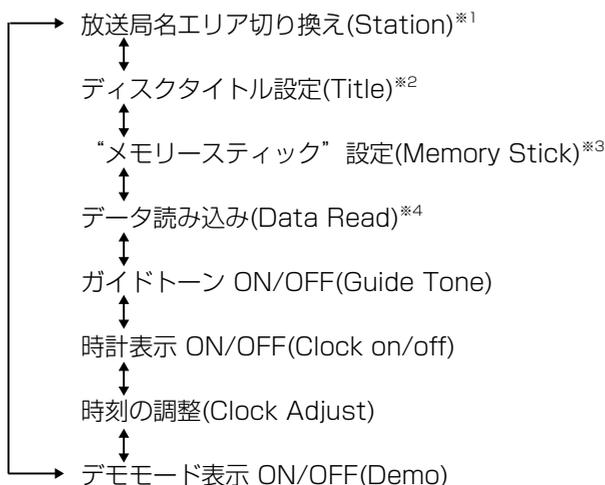
さまざまな設定を変更することができます。

1 [FUNC]ボタンを短く(1秒未満)押す

ファンクションモードに切り換わります。

2 [TUNE/TRACK]ボタンを回し設定項目を選択する

ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。



- ※1 ラジオ操作時以外は設定することができません。
(詳細はラジオの操作68ページを参照してください。)
- ※2 CDプレーヤー、またはCDチェンジャー操作時以外は設定することができません。
(詳細はCD/MD部の操作40ページ、(別売)CDオートチェンジャー/MDチェンジャーを接続したときの操作126ページを参照してください。)
- ※3 録音中は設定することができません。
(詳細は“メモリースティック”部の操作61ページを参照してください。)
- ※4 詳細はサウンド調整モードの操作110ページを参照してください。

3 [TUNE/TRACK]ボタンを押す

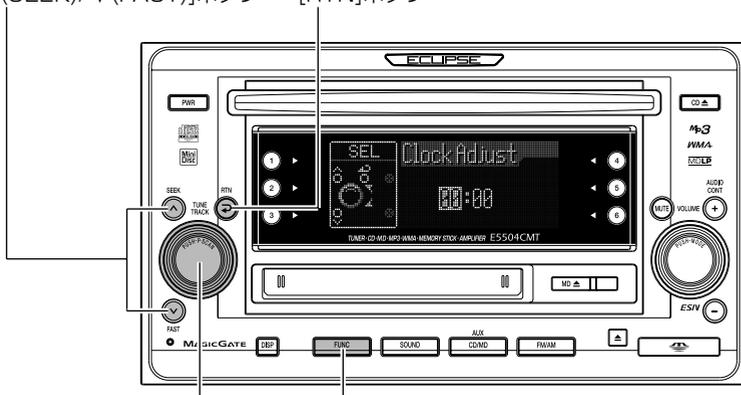
各調整モードに切り換わります。

ガイドトーン ON/OFF

ガイドトーンのON/OFFを切り換えることができます。
お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンが鳴るように設定されています。

- 1 [TUNE/TRACK]ボタンを回しON/OFFを切り換える
ボタンを回すごとに、ON/OFFが切り換わり、選択された項目は文字が反転します。
- 2 [RTN]ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 3 [FUNC]、[RTN]ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(2の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されず。)

[^ (SEEK)/V (FAST)]ボタン [RTN]ボタン



[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン

時計表示 ON/OFF

時計表示のON/OFFを切り換えることができます。

- 1 [TUNE/TRACK] ボタンを回しON/OFFを切り換える**
 ボタンを回すごとに、ON/OFFが切り換わり、選択された項目は文字が反転します。
- 2 [RTN] ボタンを押す**
 ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 3 [FUNC]、[RTN] ボタンを押す**
 ファンクションモードが解除されます。
 (2の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

時刻の調整

本機は、12時間表示になっています。

- 1 [TUNE/TRACK]ボタンを回し調整する項目を選択する**
ボタンを回すごとに、時、分、正時が切り換わり、選択された項目は文字が反転します。
- 2 [^(SEEK)/V(FAST)]ボタンを押して、調整する**
[^ (SEEK)]ボタン……選択されている時間または分が増える
[V (FAST)]ボタン……選択されている時間または分が減る



ワンポイント

00分00秒(正時)に時計を合わせる時は、30分単位で次のように切り換わります。

例)

3 : 29 → [^(SEEK)/V(FAST)]ボタン → 3 : 00

3 : 30 → [^(SEEK)/V(FAST)]ボタン → 4 : 00

- 3 [RTN]ボタンを押す**
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 4 [FUNC]、[RTN]ボタンを押す**
ファンクションモードが解除されます。
(**3**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)



[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン

デモモード表示 ON/OFF

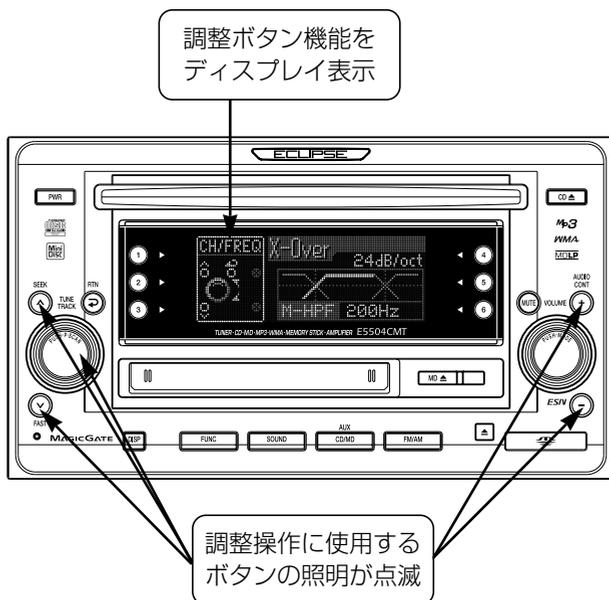
この機能をONにすると、電源をONにした時、各オーディオ操作画面やモーションピクチャー(動画)が繰り返しデモモードとして表示されます。

オープニング画面→FM操作画面→CD操作画面→MD操作画面→
“メモリースティック”操作画面→CDオートチェンジャー操作画面→
MDチェンジャー操作画面→サウンド調整モード画面→
モーションピクチャーA→モーションピクチャーB→
モーションピクチャーC→エンディング画面→オープニング画面→…

- 1 [TUNE/TRACK]ボタンを回しON/OFFを切り換える
ボタンを回すごとに、ON/OFFが切り換わり、選択された項目は文字が反転します。
- 2 [RTN]ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 3 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(2の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

操作アシスト機能について

ディスプレイ調整モード、ファンクションモード、サウンド調整モードでは、画面表示とボタンのイルミネーションで操作をガイドします。

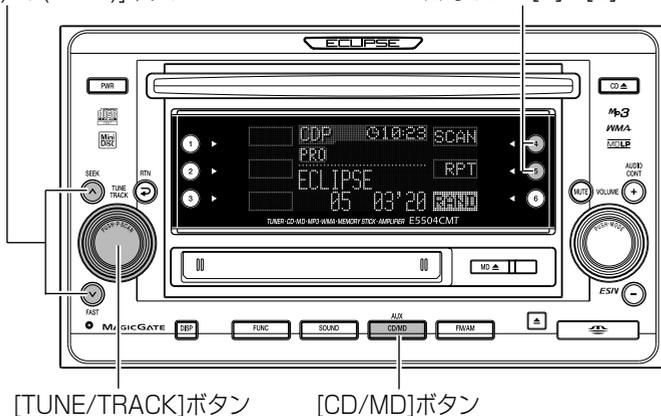


CD部/MD部の操作

ここでの操作は、すでにCDやMDが挿入されていることを前提に説明します。特に指定がない場合、操作はCD、MDで共通しています。

[^ (SEEK)/V (FAST)]ボタン

番号ボタン[4]、[5]



[TUNE/TRACK]ボタン

[CD/MD]ボタン

CD/MDを聞く

1 [CD/MD] ボタンを短く (1秒未満) 押しCDモードまたはMDモードに切り換える

ディスクモードに切り換わり、演奏が始まります。

[CD/MD] ボタンを押すごとに、CDプレーヤー(CDP)→ CDオートチェンジャー(CDC)→ MDプレーヤー(MDP)→ MDチェンジャー(MDC)→ “メモリスティック” プレーヤー(MS)の順に切り換わります。

ディスクが挿入されていない、または接続されていない機器は、飛ばして切り換わります。

別売のCDオートチェンジャーやMDチェンジャーを接続している場合は、(別売)CDオートチェンジャー/MDチェンジャーを接続したときの操作(126ページ)を参照してください。



注意

CDやMDにキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。

次の曲に進む/曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを回す

右に回す ……次の曲に進む

左に回す ……演奏中の曲の頭(繰り返し回すと前の曲)に戻る

早送り・早戻しする

1 [∧(SEEK)/V(FAST)]ボタンを押しつづける

[∧(SEEK)]ボタン ……早送りする

[V(FAST)]ボタン ……早戻しする

曲の始まりを演奏する(スキャン) (SCAN)

1 番号ボタン[4]を押す

演奏しているディスク全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。
再度番号ボタン[4]を押すと解除されます。

繰り返し演奏する(リピート) (REPEAT)

1 番号ボタン[5]を押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。
再度番号ボタン[5]を押すと解除されます。



曲の順番を変えて演奏する (RANDOM^{ランダム})

1 番号ボタン[6]を押す

演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。
再度番号ボタン[6]を押すと解除されます。



- ・RANDOMを選択中に、番号ボタン[5]を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン[5]を押すと、RANDOMに戻ります。
- ・繰り返し再生される曲は下記になります。
 - ・曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
 - ・次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。
- ・まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- ・「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「RPT」、「RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。(ディスプレイ表示パターン Type Bの時)

MDLPモードでグループ編集されたMDの操作

MDLPモードのグループ編集機能で、グループに分けて録音されたMDの場合、次のような操作をすることができます。(ただし、編集・録音された機器によって、動作しないことがあります。)

次のグループに進む/前のグループに戻る

- 1 番号ボタン[1]または[2]を押す
番号ボタン[1] ……………前のグループに戻る
番号ボタン[2] ……………次のグループに進む

曲の始まりを演奏する(グループSCAN)

- 1 番号ボタン[4]を長めに(1秒以上)押す
「GROUP SCAN」と表示され、MD内の全グループの1曲目を10秒間ずつ演奏します。
再度番号ボタン[4]を押すと解除されます。

繰り返し演奏する(グループREPEAT)

- 1 番号ボタン[5]を長めに(1秒以上)押す
「GROUP REPEAT」と表示され、演奏中のグループ内の曲を繰り返し再生します。
再度番号ボタン[5]を押すと解除されます。

曲の順番を変えて演奏する(グループRANDOM)

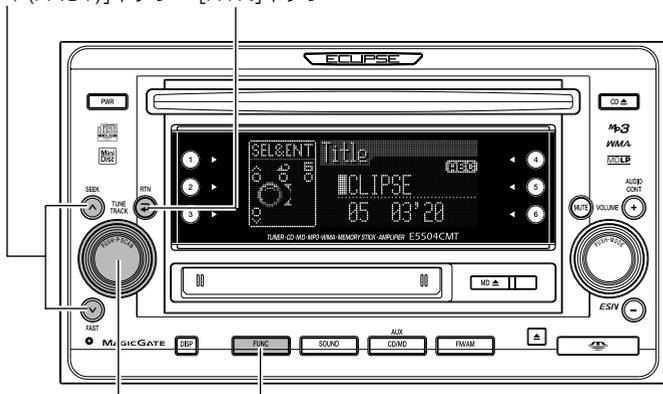
- 1 番号ボタン[6]を長めに(1秒以上)押す
「GROUP RANDOM」と表示され、演奏中のグループ内の曲を順不同に演奏します。
再度番号ボタン[6]を押すと解除されます。



ワンポイント

- ・まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- ・「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「GROUP-SCAN」、「GROUP-RPT」、「GROUP-RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。(ディスプレイ表示パターンType Bの時)

[∧(SEEK)/V(FAST)]ボタン [RTN]ボタン



[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン

CDのタイトルを設定する

CDにタイトルをつけ、表示させることができます。



ワンポイント

- ・最大で30枚分のタイトルを記憶させることができます。
- ・タイトルは、最大12文字まで入力できます。
- ・CD TEXTにタイトルまたは曲名が記録されているときは、この機能はご使用になれません。

タイトルを設定したいディスクを選んでから以下の動作を行ってください。

- [FUNC]ボタンを短く(1秒未満)押す**
ファンクションモードに切り換わります。
- [TUNE/TRACK]ボタンを回し「Title」を選択して、[TUNE/TRACK]ボタンを押す**
ディスクタイトル設定モードになります。
- [∧(SEEK)]ボタンを押し入力する文字の種類を選択する**
ボタンを押すごとに、「ABC」(大文字アルファベット)、「アイウ」(カナ)、「123」(数字)、「! ” #」(記号)の順に表示が切り換わります。

4 [TUNE/TRACK]、または[V (FAST)]ボタンを押して、入力する文字位置を選択する

点滅している位置に文字が入力されます。

[TUNE/TRACK]ボタン ……右に進む

[V (FAST)]ボタン ……………左に戻る

5 [TUNE/TRACK]ボタンを回し文字を選択する

右に回す ……次の文字に進む

左に回す ……前の文字に戻る

[大文字/アルファベット]初期値[A] 【右方向】

A → B → C → …X → Y → Z

[カタカナ]初期値[ア] 【右方向】

ア → イ → ウ → エ → オ → …ワ → ヲ → ン → ア → イ → ウ → エ → オ → ヤ → ユ → ヨ → ツ → * → °

[数字]初期値[1] 【右方向】

1 → 2 → 3 → …8 → 9 → 0

[記号]初期値[!] 【右方向】

! → * → # → \$ → % → & → ' → (→) → * → + → , → - → . → / → : → ; → < → = → > → ? → @ → ' → _



ワンポイント

- ・入力する文字の種類を変更するときは、**3**～**5**の手順を繰り返してください。
- ・文字は最大12文字まで入力できます。

6 [RTN]ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

7 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(**6**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)



設定したタイトルを変更する

- 1** [FUNC]ボタンを短く(1秒未満)押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2** [TUNE/TRACK]ボタンを回し「Title」を選択して、
[TUNE/TRACK]ボタンを押す
ディスクタイトル設定モードになります。
- 3** [TUNE/TRACK]、または[V(FAST)]ボタンを押して、変更
したい文字を点滅させる
[TUNE/TRACK]ボタン ……右に進む
[V(FAST)]ボタン ……左に戻る
- 4** [TUNE/TRACK]ボタンを回し入力する文字を選択する
右に回す ……次の文字に進む
左に回す ……前の文字に戻る
- 5** [RTN]ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6** [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(5の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除され
ます。)

設定したタイトルを削除する

- 1** [FUNC]ボタンを短く(1秒未満)押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2** [TUNE/TRACK]ボタンを回し「Title」を選択して、
[TUNE/TRACK]ボタンを押す
ディスクタイトル設定モードになります。
- 3** 「DELETE」と表示されるまで番号ボタン[6]を押す
- 4** [RTN]ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 5** [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(**4**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除され
ます。)



CD TEXT、MD演奏時の表示を切り換える

CD TEXT、MDにタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらを表示させることができます。表示部には、最大12文字まで表示されます。ディスクタイトルやトラックタイトルが記録されていない場合、NO TITLEと表示されます。

1 [DISP]ボタンを長めに(1秒以上)押す

ディスクタイトルがスクロール表示された後にトラックタイトルがスクロール表示されます。

トラックタイトルがスクロール表示された後、固定表示になります。



注意

- ・本機の表示部にCD TEXT、MDのタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。
- ・入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。
- ・ディスクによって全てのタイトル文字が表示されないことがあります。
- ・本機で表示することができる文字は、英数字および記号です。それ以外の文字は、* (アスタリスク)で表示されます。

ディスクを取り出す

1 [▲(イジェクト)]ボタンを押す

挿入されていたディスクが排出されます。

[CD▲]ボタン ……………CDが排出される

[MD▲]ボタン ……………MDが排出される

MP3/WMAの操作

MP3/WMAについて



MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

MP3/WMAとは？

MP3(MPEG Audio レイヤ3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA(Windows Media™ Audio)は音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。本機で使用できるMP3/WMAファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットに制限があります。

再生可能なMP3ファイルの規格について

- 対応規格 : MPEG-1 Audio レイヤ3
- 対応サンプリング周波数 : 44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート : 64、80、96、112、128、160、192、224、256、288、320 (kbps)
 ※VBRに対応しています。(64～320kbps)
 ※フリーフォーマットには対応していません。
- 対応チャンネルモード : ステレオ

再生可能なWMAファイルの規格について

- 対応規格 : WMA Ver. 7、8、9
- 対応サンプリング周波数: 32、44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート: 48、64、80、96、128、160、192、256、320 (kbps)
 ※ VBRに対応しています。(48～192 kbps)
 ※ 可逆圧縮(ロスレス圧縮)には対応していません。
 ※ サンプリング周波数48kHz、ビットレート48kbpsの組み合わせで記録されたWMAファイルは、再生することができません。

ID3タグ、WMAタグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。本機は、ID3v.1.0、ID3v.1.1およびID3v.2*のID3タグに対応しています。

*：ID3v.1.0、またはID3v.1.1とID3v.2が混在している場合は、ID3v.1.0、またはID3v.1.1が優先して表示されます。

WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力ことができ、ID3タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-ROM、CD-RおよびCD-RWです。

なお、CD-Rは通常の音楽CDに使用されているCD-ROMに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-Rは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合、再生できない場合や音飛びする場合があります。

一部のCD-Rは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-Rは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

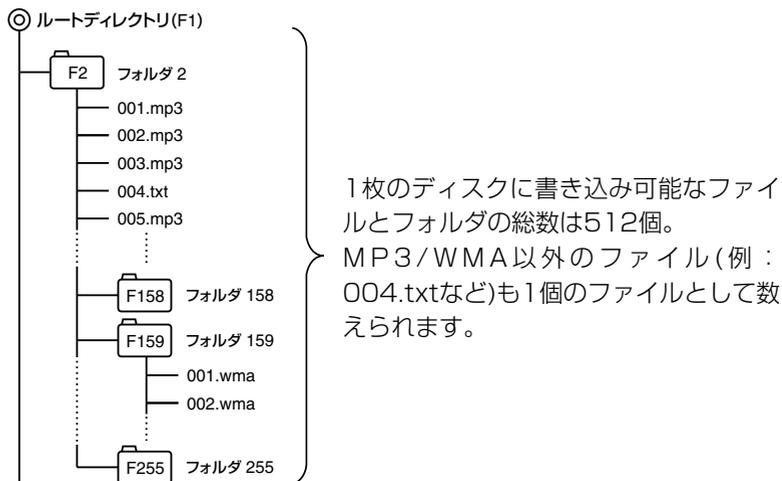
使用できるディスクのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2です。

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは正常に再生できなったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名/ファイル名文字数 : 半角32文字(区切り文字“.” + 拡張子3文字を含む)
- フォルダ名/ファイル名使用可能文字 : A～Z、0～9、_(アンダースコア)
- 1枚のディスクに書き込み可能なファイルとフォルダの総数 : 512個

<MP3/WMA対応CDの構造例>



- 一枚のディスクに書き込み可能なフォルダの総数：255個
 - 本機で認識できるフォルダ数の上限：256個*
- ※ルートディレクトリも1個のフォルダとして数えられます。

ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“.mp3” / “.wma”が付いたものだけです。MP3ファイルには、“mp3”の拡張子を付けて保存してください。WMAファイルには、“wma”の拡張子を付けて保存してください。拡張子名“mp” / “wma”は大文字でも小文字でもかまいません。



注意

MP3/WMA以外のファイルに“.mp3” / “.wma”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに、“mp3” / “.wma”の拡張子を付けしないでください。

マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMAファイルを追記したCD-RおよびCD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

また、セッション毎にフォーマットを変更しないで、統一したフォーマットで作成してください。

MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ディスク内のファイルをチェックしている間、音はできません。

ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

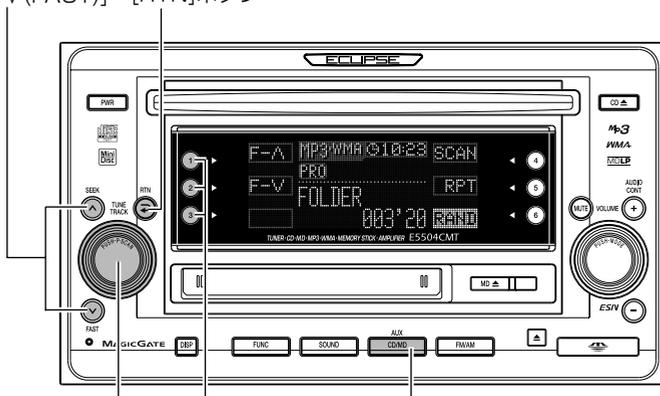
MP3ファイル、フォルダの表示順番

MP3/WMAフォルダおよびファイルは、同一階層内にあるMP3/WMAフォルダ、ファイルを次のように表示します。

1. フォルダを数字、アルファベットの昇順に表示
2. 次にファイルを数字、アルファベットの昇順に表示

ここでの操作は、すでにMP3/WMAファイルが収録されているCDが挿入されていることを前提に説明します。

[^ (SEEK)/V (FAST)] [RTN]ボタン
ボタン



[TUNE/TRACK]ボタン 番号ボタン [1]~[3] [CD/MD]ボタン

MP3/WMAを聞く

1 [CD/MD]ボタンを短く(1秒未満)押しCDモードに切り換える

ディスクモードに切り換わり、演奏が始まります。

[CD/MD]ボタンを押すごとに、CDプレーヤー(CDP)→ CDオートチェンジャー(CDC)→ MDプレーヤー(MDP)→ MDチェンジャー(MDC)→ “メモリスティック” プレーヤー(MS)の順に切り換わります。

ディスクが挿入されていない、または接続されていない機器は、飛ばして切り換わります。



ワンポイント

- ・通常に録音された音楽データ(CD-DA)とMP3/WMA音楽ファイルが混在している時は、通常に録音された音楽データを再生します。MP3/WMA音楽ファイルを再生する時は、番号ボタン[3]を長めに(1秒以上)押ししてください。
- ・対応していないMP3/WMAファイルは、再生されません。ディスク内のMP3/WMAファイルが全て対応されていない場合は、「NO SUPPORT」が表示されます。
- ・プロテクト録音(ライセンス管理)されたWMAファイルは再生されません。ディスク内のWMAファイルが全てプロテクト録音されている場合は、「PROTECT」が表示されます。
- ・別売のCDオートチェンジャーでMP3/WMAファイルを再生することはできません。



注意

CDにキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。

次のファイルに進む/ファイルの頭に戻る

次のファイルや演奏中のファイルの頭へ移動します。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを回す

右に回す ……次のファイルに進む

左に回す ……演奏中のファイルの頭(繰り返し回すと前のファイル)に戻る

次のフォルダに進む/前のフォルダに戻る

次のフォルダや前のフォルダへ移動します。

1 番号ボタン[1]または[2]を押す

番号ボタン[1] ……次のフォルダに進む

番号ボタン[2] ……前のフォルダに戻る

早送り・早戻しする

1 [∧(SEEK)/V(FAST)]ボタンを押しつづける

[∧(SEEK)]ボタン ……早送りする

[V(FAST)]ボタン ……早戻しする

ルートディレクトリへ戻る

ルートディレクトリに再生可能なファイルがない場合は、再生可能な一番最初のファイルに戻ります。(MP3/WMA対応CDの構造例の場合、フォルダ2の001.mp3ファイルに戻ります。52ページ参照)

1 [RTN]ボタンを押す



曲の始まりを演奏する(スキャン SCAN)

1 番号ボタン[4]を押す

短く(1秒未満)押すと、演奏中のフォルダとその下の階層にある全ファイルの始まりを10秒間ずつ演奏します。

長めに(1秒以上)押すと、全フォルダの1曲目を10秒間ずつ演奏します。再度番号ボタン[4]を押すと解除されます。

繰り返し演奏する(リピート REPEAT)

1 番号ボタン[5]を押す

短く(1秒未満)押すと、演奏中のファイルを繰り返し演奏します。

長めに(1秒以上)押すと、演奏中のフォルダとその下の階層にある全ファイルを繰り返し演奏します。

再度番号ボタン[5]を押すと解除されます。

曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)

1 番号ボタン[6]を押す

短く(1秒未満)押すと、演奏中のフォルダとその下の階層にあるファイルを順不同に演奏します。

長めに(1秒以上)押すと、全フォルダのファイルを順不同に演奏します。再度番号ボタン[6]を押すと解除されます。



ワンポイント

・RANDOMを選択中に、番号ボタン[5]を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン[5]を押すと、RANDOMに戻ります。

繰り返し再生される曲は下記になります。

- ・曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
- ・次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。
- ・まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- ・「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「ALL-SCAN」、「RPT」、「ALL-RPT」、「RAND」、「ALL-RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。(ディスプレイ表示パターンType Bの時)

MP3/WMA演奏時の表示を切り換える

1 [DISP]ボタンを長めに(1秒以上)押す

ボタンを押すごとに、次のように表示を切り換えることができます。

フォルダ名/ファイル名^{*1} ↔ ID3/WMAタグ

- ※1 フォルダ名がスクロール表示された後にファイル名がスクロール表示されます。
ファイル名がスクロール表示された後、固定表示になります。



ワンポイント

・本機で表示することができる文字は、英数字および記号です。それ以外の文字は、* (アスタリスク)で表示されます。

“メモリースティック”部の操作

本機は、ATRAC3(オーディオ圧縮技術)で“MGメモリースティック”に記録された音楽データを再生することができます。

ここでの操作は、すでに“メモリースティック”が挿入されていることを前提に説明します。

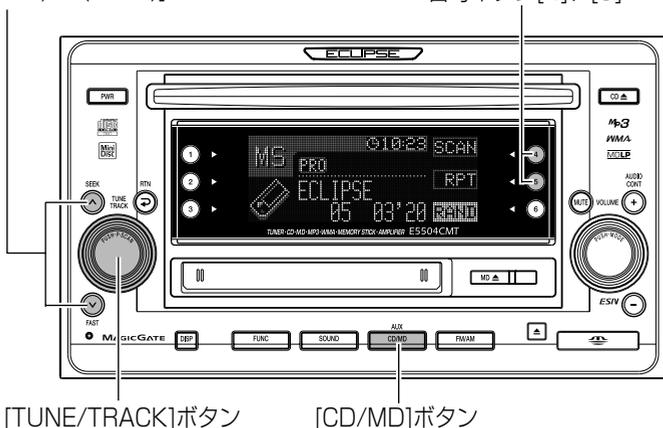


ワンポイント

- ・ “MGメモリースティック” にアーティスト名や曲名(トラック名称)などが記録されているときは表示することができます。また、表示文字数は12文字まで表示できます(英数のみ)。
- ・ ATRAC3 Plusで記録された音楽データは再生することができません。
- ・ MP3/WMAで記録された音楽データは再生することができません。

[^ (SEEK)/V (FAST)]ボタン

番号ボタン[4]、[5]



[TUNE/TRACK]ボタン

[CD/MD]ボタン

“メモリースティック”を聞く

1 [CD/MD]ボタンを短く(1秒未満)押し“メモリースティック”モードに切り換える

“メモリースティック”モードに切り換わり、演奏が始まります。

[CD/MD]ボタンを押すごとにCDプレーヤー(CDP)→CDオートチェンジャー(CDC)→MDプレーヤー(MDP)→MDチェンジャー(MDC)→“メモリースティック”(MS)の順に切り換わります。

ディスクが挿入されていない、または接続されていない機器は、飛ばして切り換わります。

次の曲に進む/曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを回す

右に回す ……次の曲に進む

左に回す ……演奏中の曲の頭(繰り返し回すと前の曲)に戻る

早送り・早戻しする

1 [∧(SEEK)/V(FAST)]ボタンを押しつづける

[∧(SEEK)]ボタン ……早送りする

[V(FAST)]ボタン ……早戻しする

曲の始まりを演奏する(SCAN^{スキャン})

1 番号ボタン[4]を押す

演奏している“メモリースティック”全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。

再度番号ボタン[4]を押すと解除されます。

繰り返し演奏する(REPEAT^{リピート})

1 番号ボタン[5]を押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

再度番号ボタン[5]を押すと解除されます。



曲の順番を変えて演奏する (RANDOM^{ランダム})

1 番号ボタン[6]を押す

演奏中の“メモリスティック”内の曲を順不同に演奏します。
再度番号ボタン[6]を押すと解除されます。



- ・RANDOMを選択中に、番号ボタン[5]を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン[5]を押すと、RANDOMに戻ります。
- ・繰り返し再生される曲は下記になります。
 - ・曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
 - ・次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。
- ・まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- ・「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「RPT」、「RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。(ディスプレイ表示パターン Type Bの時)

“メモリースティック”へ録音する

本機は、内蔵のCDプレーヤーで再生している音楽をATRAC3圧縮技術で圧縮し、“MGメモリースティック”に録音することができます。音楽CD以外からは録音することはできません。

ノンストップCDなどを録音した場合、トラックが正確に区切れない場合があります。

SCMS(シリアルコピーマネジメントシステム)に対応しているため、音楽CDなどからデジタル録音したもの(CD-R、CD-RWなど)を、“MGメモリースティック”に録音することはできません。また、録音が禁止されている音楽CDからも録音することはできません。



注意

- ・本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽・音声データについては保証できません。
- ・あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽・音声データが正しく録音されていることを確認してください。
- ・録音中に本機の電源をOFF、またはエンジンスイッチの操作を行わないでください。データが破損する恐れがあります。
本機の電源をOFF、またはエンジンスイッチの操作を行うときは必ず録音を中止([FUNC]ボタンを1秒以上押す)してから操作してください。

1 録音する“MGメモリースティック”と音楽CDを挿入する

2 CDモードで[FUNC]ボタンを長めに(1秒以上)押す

“メモリースティック”への録音を開始されます。

録音方式の設定で録音対象曲を「1 Track」に選択した場合は、[TUNE/TRACK]ボタンで選曲して、録音を開始してください。

録音対象曲の演奏が終了すると、録音も終了します。

録音対象曲の設定については、「録音対象曲の選択」(63ページ)を参照してください。

再度[FUNC]ボタンを長めに(1秒以上)押すと録音が中止されます。



ワンポイント

曲の途中で録音を中止すると、その曲は録音されません。

[RTN]ボタン



[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン

録音方式の設定

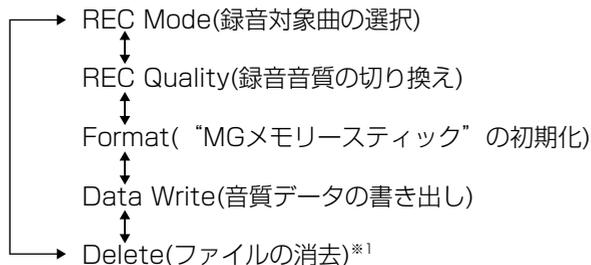
“MGメモリースティック”の録音方式を切り換えることができます。

- 1 [FUNC]ボタンを短く(1秒未満)押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2 [TUNE/TRACK]ボタンを回し「Memory Stick」を選択する



録音中は“メモリースティック”設定モードを選択することはできません。

- 3 [TUNE/TRACK]ボタンを押す
“メモリースティック”設定モードに切り換わります。
- 4 [TUNE/TRACK]ボタンを回し設定項目を選択する
ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。



*1 “メモリースティック”再生時のみ選択できます。再生時以外は表示されません。

- 5 [TUNE/TRACK]ボタンを押す
各設定モードに切り換わります。

録音対象曲の選択

録音する曲を選択します。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回し設定項目を選択する

ボタンを回すごとに、録音対象曲モードが次の順に切り換わります。

All(ディスク内の全曲を録音)



1Track(選択したトラックのみ録音)

2 [RTN] ボタンを押す

“メモリースティック”設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [FUNC]、または[RTN] ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(**2**、**3**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

録音音質の切り換え

録音するときの音質(録音ビットレート)を設定します。録音ビットレートは66Kbps、105Kbps、132Kbpsから選択でき、数字が大きくなるほど、音質は良くなりますが、データ量も大きくなります。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回し録音ビットレートを選択する

ボタンを回すごとに、録音ビットレートが次の順に切り換わります。



2 [RTN] ボタンを押す

“メモリースティック”設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。

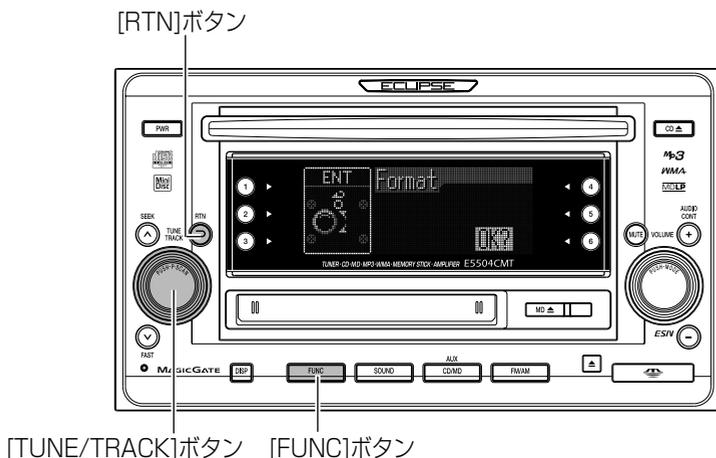
3 [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [FUNC]、または[RTN] ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(**2**、**3**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)



“メモリスティック”をフォーマットする

“MGメモリスティック”のフォーマット(初期化)をすることができます。



ワンポイント

- ・新しくご購入されたばかりの“MGメモリスティック”は、そのままでは使用できない場合があります。その場合、本機でフォーマットすることにより、音楽を録音できる状態にする(Hi-Fiディレクトリのフォーマット)ことができます。
- ・“MGメモリスティック”専用機器以外でフォーマットされた場合、本機で使用できない場合があります。
- ・フォーマットすると“メモリスティック”内のデータが全て(セキュリティーの登録内容やE-iSERVからダウンロードしたデータも含む)消去されます。
- ・フォーマット中に本機の電源をOFF、またはエンジンスイッチの操作を行わないでください。データが破損する恐れがあります。

- 1 [FUNC] ボタンを短く (1 秒未満) 押す**
ファンクションモードに切り換わります。
- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを回し「Memory Stick」を選択する**
- 3 [TUNE/TRACK] ボタンを押す**
“メモリスティック”設定モードに切り換わります。
- 4 [TUNE/TRACK] ボタンを回し「Format」を選択する**
- 5 [TUNE/TRACK] ボタンを押す**
ディスプレイに「OK？」が表示されます。
“メモリスティック”のフォーマットを中止したいときは、[RTN] ボタンを押すと、“メモリスティック”設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。

6 [TUNE/TRACK]ボタンを長めに(2秒以上)押す

“メモリースティック”がフォーマットされます。

7 [RTN]ボタンを押す

“メモリースティック”設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。

8 [RTN]ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

9 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(**7**、**8**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)



ファイルを消去する

“メモリスティック”再生時に再生中のファイルを消去します。

- 1** [FUNC]ボタンを短く(1秒未満)押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2** [TUNE/TRACK]ボタンを回し「Memory Stick」を選択する
- 3** [TUNE/TRACK]ボタンを押す
“メモリスティック”設定モードに切り換わります。
- 4** [TUNE/TRACK]ボタンを回し「Delete」を選択する
- 5** [TUNE/TRACK]ボタンを押す
ディスプレイに「OK?」が表示されます。
ファイルの消去を中止したいときは、[RTN]ボタンを押すと、“メモリスティック”設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6** [TUNE/TRACK]ボタンを長めに(2秒以上)押す
再生中のファイルが消去されます。
- 7** [RTN]ボタンを押す
“メモリスティック”設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 8** [RTN]ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

9 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(7、8の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

“メモリースティック”演奏時の表示を切り換える

“メモリースティック”にタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらを表示させることができます。表示部には、最大12文字まで表示されます。

1 [DISP]ボタンを長めに(1秒以上)押す

ディスクタイトルがスクロール表示された後にトラックタイトルがスクロール表示されます。

トラックタイトルがスクロール表示された後、固定表示になります。



注意

- ・本機の表示部に“メモリースティック”のタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。
- ・入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。
- ・“メモリースティック”によって全てのタイトル文字が表示されないことがあります。
- ・本機で表示することができる文字は、英数字および記号です。それ以外の文字は、* (アスタリスク)で表示されます。

“メモリースティック”を取り出す

1 [▲ (“メモリースティック” イジェクト)]ボタンを押す

“メモリースティック”が排出されます。



注意

“メモリースティック”のアクセスランプ(イジェクトボタン)点灯中は取り出さないでください。データが破損する恐れがあります。

ラジオ部の操作

本機は、自動と手動の2通りの方法で放送局を記憶することができます。
AM1、2に各6局、FM1、2に各6局の合計24局を記憶することができます。



ラジオを聞く

すでに放送局を記憶させている場合は、任意の番号ボタンを押すと記憶させた放送局を受信することができます。

1 [FM/AM] ボタンを押す

ラジオモードに切り換わります。

2 [FM/AM] ボタンを押しFM/AMバンドを切り換える

ボタンを押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

3 [TUNE/TRACK] ボタンを回す

任意の周波数に合わせます。

右に回す ……周波数の高いほうへ移る

左に回す ……周波数の低いほうへ移る

4 [△(SEEK)/V(FAST)] ボタンを押す

電波の強い放送局を自動的に受信します。

[△(SEEK)]ボタン ……周波数の高いほうへ選局

[V(FAST)]ボタン ……周波数の低いほうへ選局

自動的に放送局を記憶させる

[FM/AM]ボタンを押して、FMまたはAM放送を選んでおきます。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを長めに(1秒以上)押す

「ASM ON」と表示され、受信電波の強い局が周波数の低い方から高い方へ順に番号ボタン[1]～[6]に記憶されます。このボタンをプリセットボタンと呼びます。

動作終了後は、「ASM ON」の表示が消え、最後に記憶された放送局を受信し続けます。

以後、ラジオをお聞きになる場合は、プリセットボタンを押してワンタッチで選局できるようになります。



ワンポイント

- ・ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
- ・受信電波が6局未満のときは、残りのプリセットボタンは変更されません。



注意

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたとき、または、[リセット]ボタンを操作したときは、プリセットボタンへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

手動で放送局を記憶させる

[FM/AM]ボタンを押して、FMまたはAM放送を選んでおきます。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを回し記憶させる周波数に合わせる

2 任意の番号ボタン[1]～[6]を長めに(2秒以上)押す

選択した放送局が番号ボタンに記憶され、表示部に周波数が表示されます。このボタンをプリセットボタンと呼びます。

以後、ラジオをお聞きになる場合は、プリセットボタンを押してワンタッチで選局できるようになります。



注意

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたとき、または、[リセット]ボタンを操作したときは、プリセットボタンへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。



記憶させた放送局を確認する

自動または手動で記憶させた放送局を呼び出し、5秒間ずつ受信します。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを短く (1秒未満) 押す

プリセットスキャンが始まります。受信中のプリセットチャンネルが順次反転表示(または周波数が表示)されます。

2 再度[TUNE/TRACK] ボタンを短く (1秒未満) 押す

通常の状態に戻ります。

放送局名を表示する(放送局のエリア設定)

受信した周波数に対応する放送局名を表示します。

表示する放送局名は各地域で異なりますのでお使いのエリアを選択してください。



ワンポイント

選択したエリアにその周波数がない場合、放送局名は表示されません。



注意

エリアを選択しても、そのエリアでの周波数をプリセットするものではありません。

1 [FUNC] ボタンを押す

ファンクションモードに切り換わります。

2 [TUNE/TRACK] ボタンを回し「Station」を選択する

3 [TUNE/TRACK]ボタンを押す

放送局名表示モードに切り換わります。

4 [TUNE/TRACK]ボタンを回し使用するエリアを選択する

ボタンを回すごとに、次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。

エリア名	対象となる都道府県
ホッカイドウ	北海道
トウホク	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
カントウ	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野
チュウブ	岐阜、愛知、三重、富山、石川、福井、静岡
キンキ	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
チュウゴク	鳥取、島根、岡山、広島、山口
シコク	徳島、香川、愛媛、高知
キウシュウ	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
セツテイナシ	

5 [RTN]ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

6 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(**5**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)



注意

以下の点にご注意ください。

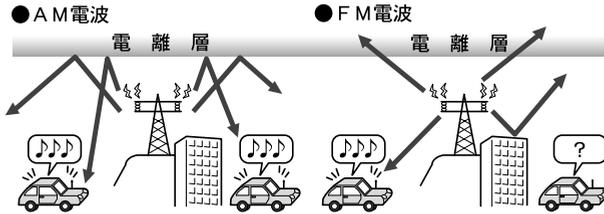
- ・500W以下のAM放送局(中継局)および100W以下のFM放送局(中継局)のデータには対応していないため、放送局名が表示されません。
- ・設定されているエリア以外の放送局を受信したときは、放送局名が表示されない場合があります。
- ・同一エリアに複数の放送局があるときは、次のような表示をする場合があります。
IWATE/NHK……FM岩手とNHK FMの場合
- ・放送局によっては、正式な名称を表示しないときがあります。(10文字まで表示します。)
- ・本機の放送局名データは、平成15年1月1日現在のものです。

FM放送について

FM放送は、普通のラジオ放送(AM)に比べて、よい音質で聞くことができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

FM電波の直進性

FM電波は、AM電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質をもっています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もできます。したがってFM電波の受信範囲は、AM電波に比べてかなり狭くなります。



フェードアウト

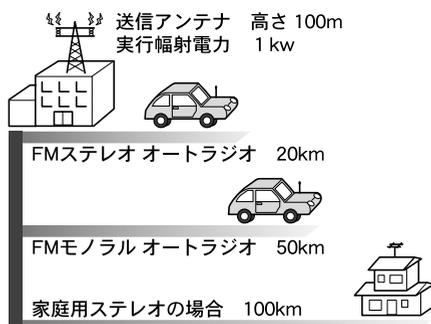
FM放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質をもっています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れて「シャッ、シャッ」というような雑音が生じる「フェードアウト」(消失)現象が起こることがあります。

FM放送のサービスエリア

家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。

しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナ形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。

電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のぼしてお使いください。

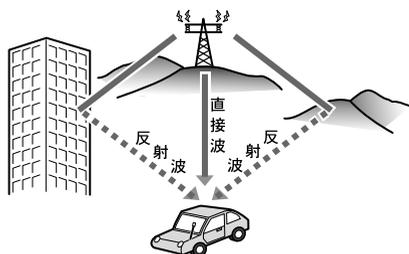


(図の聴取可能範囲は、障害のない平坦地の場合の一例であって、電力、地形等によって大きな差異があります。)

マルチパス

放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジュール、ジュール」という雑音ができたり、女声のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチパス」(多重伝播)ひずみといいます。

このような現象は、「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こったときは、車を移動させる以外に避けることはできません。



サウンド調整モードの操作

サウンド調整モードについて

本機では通常モード、プロモードの2種類のサウンド調整モードを設けております。

通常モードでは、車室内の音響特性を比較的容易な設定で調整できます。またフロントスピーカー、リアスピーカー、そして必要ならばウーファを追加した基本的なスピーカーシステムに対応しています。

プロモードは、音質特性の各調整項目をより細かいレベルまで調整することができます。またフロント、リア、ノンフェダー出力がHi(高域)、Mid(中域)、Low(低域)出力へ切り換わり、フロント3wayスピーカーシステムにも適した調整が可能です。各モードの詳細については下表および各モードの操作欄を参照ください。

通常モード、プロモード、それぞれのモードで以下の項目を調整することができます。

	通常モード	プロモード
グラフィックイコライザ	○ (84ページ参照)	×
パラメトリックイコライザ	○ (1バンド*1) (87ページ参照)	○ (98ページ参照)
タイムアライメント	○ (簡易) (88ページ参照)	○ (104ページ参照)
クロスオーバー	○ (93ページ参照)	○ (106ページ参照)
マルチハーモナイザ	○ (94ページ参照)	○ (107ページ参照)
ノンフェダーフェーズ	○ (95ページ参照)	○ (108ページ参照)
BASS / TREBLE *2	×	○
E-iSERV連携音響カスタマイズ (タイムアライメント、クロスオーバー)	○ (81ページ参照)	○ (81ページ参照)
E-iSERV連携音響カスタマイズ (パラメトリックイコライザ)	×	○ (80ページ参照)

*1 通常モードのパラメトリックイコライザはEQモードの中で調整します。

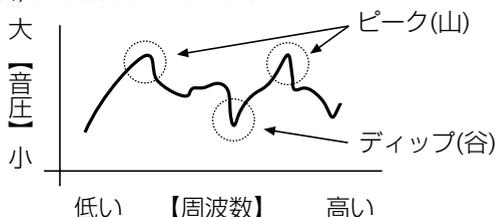
*2 オーディオコントロールモードで調整(26ページ参照)

グラフィックイコライザ

グラフィックイコライザは、再生する音楽のジャンルや楽器に合わせてあらかじめ設定されたイコライザモード(6種類)を選択したり、各モードの詳細を調整することができます。

パラメトリックイコライザ

車室内はシートやガラスなど、さまざまな素材が使われており、それらが音を吸収したり反射したりするため、車室内の周波数特性はピーク(山)やディップ(谷)ができていたりしています。

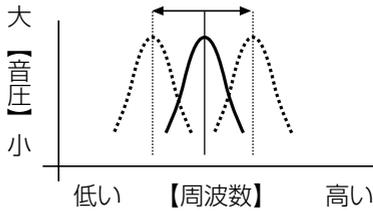


これらのピークやディップを補正し、周波数特性をフラットにするための機能が『イコライザ』です。しかし、通常のグラフィック・イコライザでは、中心周波数、Q(鋭度・帯域幅)が固定されているため、隣接する帯域まで変化してしまい、ピークやディップの特性の乱れを補正するには限界があります。

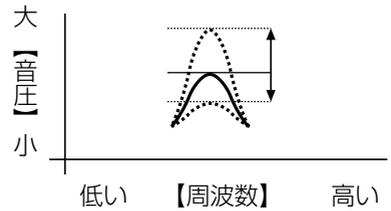
そこで、中心周波数、Q(鋭度・帯域幅)、ゲインを任意に調整でき、スポット的に狙った帯域だけを微妙に調整することができる機能が『パラメトリック・イコライザ』です。

【パラメトリックイコライザの特徴】

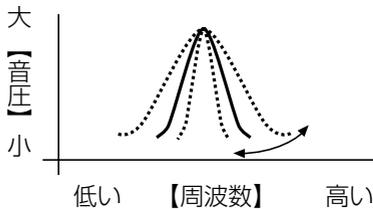
①. 中心周波数を可変できる。



②. ゲインを可変できる。



③. Q(鋭度/帯域幅)を可変できる。



本機の通常モードでは、13バンドのグラフィック・イコライザに加え、1バンドのパラメトリックイコライザを内蔵しており、グラフィック・イコライザだけでは調整しきれないポイントを、さらに1バンドのパラメトリックイコライザを使って補正することが可能です。

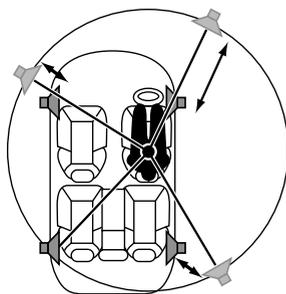
また、プロモードでは高域から中域補正用に5バンド、中域から低域補正用に5バンドのパラメトリックイコライザを調整することができます。

タイムアライメント

車の場合、スピーカーの取り付け位置と乗車位置の関係は、左右のスピーカーまでの距離が違うことがほとんどです。このスピーカーまでの距離の違いにより音の到着時間にずれが生じます。その結果、音の定位がずれる(片寄り)・サウンドステージが広がらないなど、不自然な音になってしまいます。

この音の到達時間を補正し、乗車位置に最適になるよう音を定位させ、サウンドステージの広がり感を実現する機能が『タイムアライメント』です。

基本的な調整方法は、各スピーカーまでの距離を実際に測定し、一番遠いスピーカーとの距離差を算出することで、各スピーカーからの音の遅延時間を決定します。



本機の通常モードでは簡易タイムアライメント機能を搭載しており、4項目(ポジションセクタ/車種/ツィータの設定/リアスピーカーの位置設定)を設定するだけで、実際にスピーカーまでの距離を測定しなくてもタイムアライメントの調整を簡易的に行うことが可能です。

またプロモードでは、実際のスピーカーレイアウトに従い、それぞれのスピーカーの遅延時間とレベルを調整することができます。

クロスオーバ

CDなどの音楽ソフトに収録されている周波数帯域は、20Hz～20kHzまでと幅広く、1つのスピーカーでは、この幅広い周波数を再生することは困難です。

そこで複数のスピーカーを用意し、それぞれのスピーカーの周波数帯域(低域・中域・高域など)を分割することで広帯域の再生が可能となります。

取り付けるスピーカーユニットやスピーカーレイアウトによって、各スピーカーの受け持つ周波数帯域を分割し、スピーカーの能力を最大限に引き出し、安定した周波数特性を実現し最適な音響空間を再現するための機能が『クロスオーバ』です。

クロスオーバには高域を再生するためのHPF(ハイパスフィルター)と低域を再生するためのLPF(ローパスフィルター)があります。また、中域を再生するにはHPFとLPFを組み合わせて使用します。



※fc*: カットオフ周波数

例えば、HPFを調整した場合、その周波数より低い周波数は全く再生されないわけではなく、序々に減衰していきます。この減衰特性を調整する機能が『スロープ』調整です。

フィルターのスロープ特性は、スロープの数値が大きい(例えば12dB/octなど)ほど、傾きが急になり隣の帯域からの音の混ざりが少なくなり、狙った帯域だけを再生することができますが、各スピーカー間の音のつながりが悪くなったり、歪みが発生する場合があります。

◆クロスオーバとは、特定の周波数帯域を分割するフィルターのことです。

◆HPF(ハイパスフィルター)とは、設定された周波数より低い周波数(低域)をカットし、高い周波数(高域)を通すフィルターです。

◆LPF(ローパスフィルター)とは、設定された周波数より高い周波数(高域)をカットし、低い周波数(低域)を通すフィルターです。

◆スロープとは、周波数が1オクターブ高く、または低くなったときに減衰する信号レベルです。

数値が大きくなるほど傾きは急になります。また、PASSを選択すると傾きがなくなる(フィルターを通過しない)ため、効果が得られません。

本機の通常モードでは、フロントスピーカーとリアスピーカー、必要に応じてウーファを追加する基本的なスピーカーシステムに対応しています。この場合のクロスオーバーは、フロント・リアスピーカーはHPF、ウーファはLPFを調整することにより、フロントまたはリアスピーカーとウーファの音のつながりをよくすることができます。

また、プロモードでは、フロントスピーカー、リアスピーカー、ノンフェーダー出力がHi、Mid、Low出力に切り換え、各帯域に応じたスピーカー(高域用：ツイータ、中域用：Mid、低域用：ウーファ)を組み合わせた3Wayで再生するスピーカーシステムに対応しています。この場合のクロスオーバーは高域用スピーカーではHPF、中域用スピーカーではHPF、LPF、低域用スピーカーではLPFで再生帯域を調整し、各スピーカー間の音のつながりをよくすることができます。



マルチハーモナイザ

原音からMP3/WMAやATRAC3に変換するとき、通常人間の耳に聞こえない音域が圧縮されます。マルチハーモナイザはその圧縮された音域をできるだけ原音に戻して再生することができ、クリアで迫力あるサウンドを楽しむことができます。

NON-FADERフェーズ

ウーファから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーの音と同じ周波数帯域のものが、さまざまな車室内条件により、これらの音が互いに打ち消しあってしまうことがあります。この現象を防ぐものがウーファの位相切り替えです。

車内条件に合わせて位相をNormal(フロント/リアスピーカーとウーファの出カタイミングを同じにする)またはReverse(フロント/リアスピーカーとウーファの出カタイミングをずらす)に設定することができます。

E-iSERV連携音響カスタマイズ

本機に搭載されているパラメトリックイコライザ、クロスオーバおよびタイムアライメントの調整は、ECLIPSEのWebサイトからも調整することができます。

●パラメトリックイコライザの自動補正(プロモードのみ)

車室内の周波数特性(f特)の測定結果をもとに、周波数特性の乱れ(ピーク、ディップ)を自動で補正することができます。

パラメトリックイコライザの自動補正は次の手順で行います。



● タイムアライメント、クロスオーバー

タイムアライメント、クロスオーバーの調整は、ECLIPSEのWebサイトからも本機と同様の調整をすることができます。操作手順が画面上に案内されるので、比較的容易に調整をすることができます。ECLIPSEのWebサイトにアクセスして、画面上の案内にしたがって、調整をしてください。その後、「メモリースティック」に調整したデータをダウンロードして、本機に取り込んでください。(調整したデータの取り込みは「音質データの取り込み」(110ページ)を参照してください。)

URL : <http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse>



[TUNE/TRACK]ボタン

[SOUND]ボタン

サウンド調整モードの切り換え(通常モード↔プロモード)

1 [SOUND]ボタンを5秒以上押す

ボタンを押すごとに通常モード↔プロモードへ切り換わります。プロモードに切り換えると、表示部に「PRO MODE ON」がスクロール表示されます。

通常モードに切り換えると、表示部に「PRO MODE OFF」がスクロール表示されます。

サウンド調整モードを切り換えるたびに、それぞれのモードで調整した内容でサウンドが楽しめます。



注意

3wayスピーカーシステムを装着している場合、プロモードから通常モードへ切り換えしないでください。スピーカーを破損する恐れがあります。

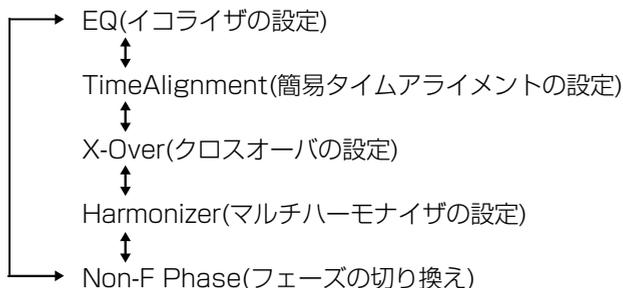
サウンド調整モード(通常モード)での操作

1 [SOUND]ボタンを押す

サウンド調整モード(通常モード)に切り換わります。

2 [TUNE/TRACK]ボタンを回し設定項目を選択する

ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。



3 [TUNE/TRACK]ボタンを押す

各設定モードに切り換わります。



イコライザの設定(EQ)

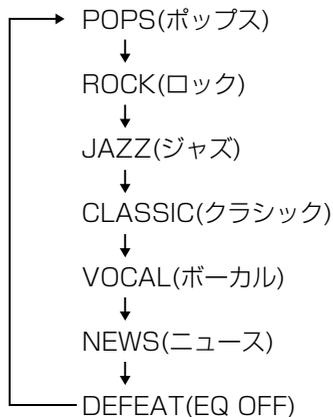
EQ(イコライザ)は、再生する音楽ジャンルや楽器に合わせて周波数を調整し、好みに合わせた音質で音楽を楽しむことができます。また、車室内の周波数特性を13バンドのグラフィックイコライザと1バンドのパラメトリックイコライザにより補正することもできます。

イコライザモードを切り換える

イコライザモードを切り換えます。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを短く(1秒未満)押す

ボタンを押すごとに、イコライザモードが次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。



2 [RTN]ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(**2**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

各イコライザモードの詳細を調整する

各イコライザモードの詳細を調整し、記憶させることができます。イコライザモードを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

1 イコライザモードを選択後、[TUNE/TRACK]ボタンを回し調整する周波数を切り換える

ボタンを回すごとに、周波数が次の順に切り換わります。

63Hz ↔ 100Hz ↔ 160Hz ↔ 250Hz ↔ 400Hz ↔
630Hz ↔ 1kHz ↔ 1.6kHz ↔ 2.5kHz ↔ 4kHz ↔ 6.3kHz
↔ 10kHz ↔ 16kHz

2 [∧(SEEK)/V(FAST)]ボタンを押す

各周波数のレベルを調整します。

[∧(SEEK)]ボタン……大きくなる

[V(FAST)]ボタン……小さくなる

3 記憶させる番号ボタン[1]～[5]のいずれかを長めに(2秒以上)押す
調整したレベルが記憶されます。**4 [RTN]ボタンを押す**

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

5 [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(**4**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

[^ (SEEK)/ V (FAST)]ボタン [RTN]ボタン プリセットボタン[1]~[6] [+/- (AUDIO CONT)]ボタン



記憶したイコライザモードを呼び出す

プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したイコライザモードを呼び出します。

- 1 [TUNE/TRACK] ボタンを回しEQを選択する
- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す
- 3 プリセットボタン[1]~[5]のいずれかを押す
記憶されたプリセットパターンが呼び出されます。
- 4 [RTN] ボタンを押す
通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 5 [SOUND]、または[RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(4の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



- ・プリセットパターンを呼び出した場合、イコライザモードは「USER ○」
↑1~5 (プリセット番号)
と表示されます。
- ・プリセットボタン[6]は、E-iSERVからダウンロードした音質データを呼び出すときに使用します。

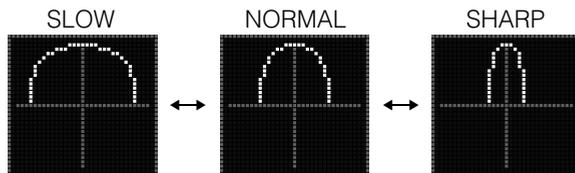
パラメトリックイコライザの詳細を調整する

パラメトリックイコライザ(1バンド)の周波数を選択、調整を行います。



以降の操作をすると、それまで設定されていたパラメトリックイコライザは更新されます。

- 1 [TUNE/TRACK] ボタンを回し設定項目のEQを選択し、
[TUNE/TRACK]ボタンを押す
- 2 [TUNE/TRACK]ボタンを長めに(1秒以上)押す
パラメトリックイコライザ調整モードに切り換わります。
- 3 [TUNE/TRACK]ボタンを回しパラメトリックイコライザに設定する
周波数を切り換える
ボタンを回すごとに、周波数が次の順に切り換わります。
80Hz ↔ 125Hz ↔ 200Hz ↔ 315Hz ↔ 500Hz ↔
800Hz ↔ 1.25kHz ↔ 2kHz ↔ 3.15kHz ↔ 5kHz ↔ 8kHz
↔ 12.5kHz
- 4 [∧(SEEK)/V(FAST)]ボタンを押す
各周波数のレベルを調整します。
[∧(SEEK)]ボタン……大きくなる
[V(FAST)]ボタン……小さくなる
- 5 [+/- (AUDIO CONT)]ボタンを押す
ボタンを押すごとに、Qカーブパターンが次の順に切り換わります。



[+(AUDIO CONT)]ボタン ……カーブが急になる

[-(AUDIO CONT)]ボタン ……カーブがゆるくなる

- 6 [TUNE/TRACK]ボタンを長めに(1秒以上)押す
イコライザモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 7 [RTN]ボタンを押す
通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 8 [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(6、7の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されず。)

[RTN]ボタン



[TUNE/TRACK]ボタン

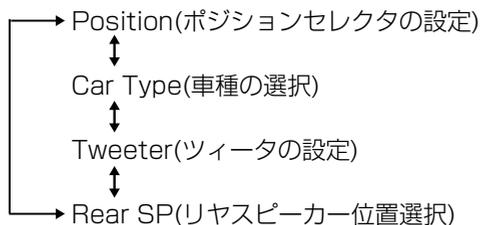
[SOUND]ボタン

簡易タイムアライメントの設定(TimeAlignment)

各スピーカーから出力される信号を遅延し、各スピーカーから聴取位置までの到達時間を合わせることで、位置特性、周波数特性を補正する機能です。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを回し設定項目を選択する

ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。



2 [TUNE/TRACK]ボタンを押す

各設定モードに切り換わります。

ポジションセレクタの設定(Position)

聞き手の座席の位置を設定すると、スピーカーから聞き手に音が届くまでの時間を調節し、より自然な音像定位を得られます。本機では4種類のポジションを設定することができます。

① [TUNE/TRACK] ボタンを回す

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。



② [RTN] ボタンを押す

タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。

③ [RTN] ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

④ [SOUND]、または[RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(②、③の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



ポジションセレクタを設定(OFF以外)するとBALANCE/FADERはキャンセルされます。

[RTN]ボタン



[TUNE/TRACK]ボタン

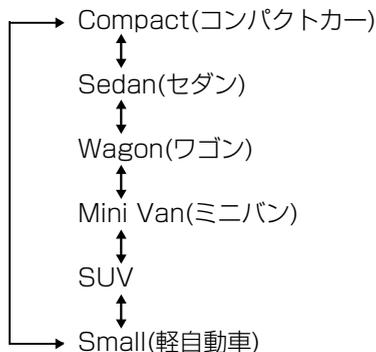
[SOUND]ボタン

車種の選択(Car Type)

あらかじめ車種別に用意されたタイムアライメントの中から車種に合ったものを選択することで、自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを回し車種を選択する

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。



2 [RTN]ボタンを押す

タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [RTN]ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(2、3の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されず。)

ツイータの設定(Tweeter)

ツイータの設置場所、ツイータの有無を選択することで自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

① [TUNE/TRACK] ボタンを回しツイータの設置場所、ツイータの有無を選択する

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。



② [RTN] ボタンを押す

タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。

③ [RTN] ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

④ [SOUND]、または[RTN] ボタンを押す

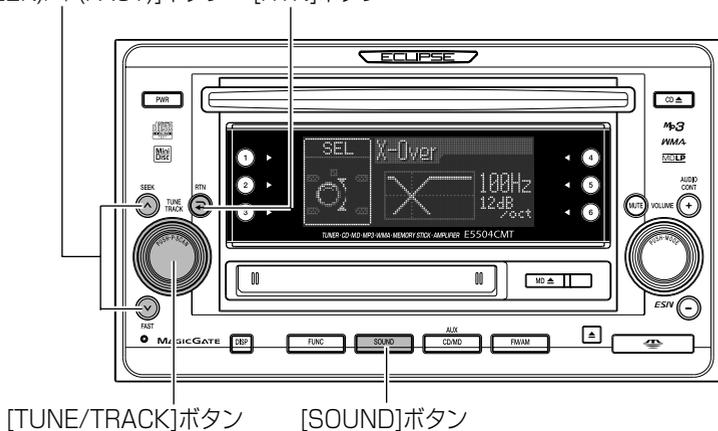
サウンド調整モードが解除されます。

(②、③の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されます。)



フロントスピーカーがダッシュパネルに取り付けられている場合、ツイータを取り付けていなくてもツイータ設定をDashにすると効果的です。

[^ (SEEK)/V (FAST)]ボタン [RTN]ボタン



リヤスピーカー位置選択 (Rear SP)

リヤスピーカーの設置場所を選択することで自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回しリヤスピーカーの設置場所を選択する

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。

Door(ドア) ↔ Others(その他)

2 [RTN] ボタンを押す

タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [RTN] ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [SOUND]、または[RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(**2**、**3**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されず。)

クロスオーバーの設定 (X-Over)

フロント・リヤスピーカーのHPF(ハイパスフィルター)/ウーファのLPF(ローパスフィルター)の周波数を63Hz~200Hzの範囲で選択することができます。(HPFとLPFのカットオフ周波数は同じです。)

- 1 [TUNE/TRACK] ボタンを回しカットオフ周波数を選択する**
ボタンを回すごとに、周波数が次の順に切り換わります。
63Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 125Hz ↔ 160Hz ↔ 200Hz
- 2 [^(SEEK)/V(FAST)] ボタンを押しスロープを設定する**
[^(SEEK)] ボタン …… PASS
[V(FAST)] ボタン …… 12dB/oct



ウーファを接続していない場合は、スロープ調整を「PASS」に設定してください。(スロープを12dB/octに設定すると、スピーカーからの低域が遮断されます。)

- 3 [RTN] ボタンを押す**
通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 4 [SOUND]、または[RTN] ボタンを押す**
サウンド調整モードが解除されます。
(**3**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

[RTN]ボタン



[TUNE/TRACK]ボタン

[SOUND]ボタン

マルチハーモナイザの設定 (Harmonizer)

MP3/WMAやATRAC3の圧縮処理により損なわれた音域をできるだけ原音に戻す補正レベルを設定することができます。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを回し補正レベルを選択する

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。



2 [RTN]ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(2の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

ノンフェダーフェーズの切り換え (Non-F Phase)

位相を切り換えることでフロント・リヤスピーカーとウーファの音のつながりを改善することができます。

位相を切り換え、違和感なく音がつながる方を選んでください。

- 1 [TUNE/TRACK] ボタンを回し正相 (NORMAL)、逆相 (REVERSE)を選択する**
- 2 [RTN] ボタンを押す**
通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 3 [SOUND]、または[RTN] ボタンを押す**
サウンド調整モードが解除されます。
(**2**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



[TUNE/TRACK]ボタン

[SOUND]ボタン

サウンド調整モードの切り換え(通常モード↔プロモード)

1 [SOUND]ボタンを5秒以上押す

ボタンを押すごとに通常モード↔プロモードへ切り換わります。プロモードに切り換えると、表示部に「PRO MODE ON」がスクロール表示されます。通常モードに切り換えると、表示部に「PRO MODE OFF」がスクロール表示されます。サウンド調整モードを切り換えるたびに、それぞれのモードで調整した内容でサウンドが楽しめます。



注意

3wayスピーカーシステムを装着している場合、プロモードから通常モードへ切り換えしないでください。スピーカーを破損する恐れがあります。

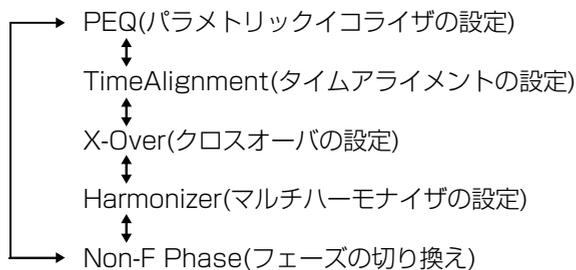
サウンド調整モード(プロモード)での操作

1 [SOUND]ボタンを短く(1秒未満)押す

サウンド調整モード(プロモード)に切り換わります。

2 [TUNE/TRACK]ボタンを回し設定項目を選択する

ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。



3 [TUNE/TRACK]ボタンを押す

各設定モードに切り換わります。

[Λ(SEEK)/V(FAST)]ボタン



[TUNE/TRACK]ボタン

パラメトリックイコライザの設定(PEQ)

パラメトリックイコライザは、Midグループ(63Hz~16kHzに25の周波数)、Hiグループ(200Hz~16kHzに20の周波数)に各5バンド(計10バンド)を設定することができます。本機では、初期設定として、Mid、Hiグループのそれぞれに5バンドが設定されています。(下記表の白部参照。)



ワンポイント

各グループ(MidまたはHi)で設定した周波数は、他のバンドで使用することができません。設定したバンドの周波数を変更するか、他のバンドの周波数を別の周波数に設定してください。

Mid グループ

M	63	80	100	125	160	200	250	315	400	500	630	800	1.0	1.25	1.6	2.0	2.5	3.15	4.0	5.0	6.3	8.0	10	12.5	16
1	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz
M	63	80	100	125	160	200	250	315	400	500	630	800	1.0	1.25	1.6	2.0	2.5	3.15	4.0	5.0	6.3	8.0	10	12.5	16
2	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz
M	63	80	100	125	160	200	250	315	400	500	630	800	1.0	1.25	1.6	2.0	2.5	3.15	4.0	5.0	6.3	8.0	10	12.5	16
3	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz
M	63	80	100	125	160	200	250	315	400	500	630	800	1.0	1.25	1.6	2.0	2.5	3.15	4.0	5.0	6.3	8.0	10	12.5	16
4	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz
M	63	80	100	125	160	200	250	315	400	500	630	800	1.0	1.25	1.6	2.0	2.5	3.15	4.0	5.0	6.3	8.0	10	12.5	16
5	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	Hz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz

H	200	250	315	400	500	630	800	1.0	1.25	1.6	2.0	2.5	3.15	4.0	5.0	6.3	8.0	10	12.5	16
1	Hz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz						
H	200	250	315	400	500	630	800	1.0	1.25	1.6	2.0	2.5	3.15	4.0	5.0	6.3	8.0	10	12.5	16
2	Hz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz						
H	200	250	315	400	500	630	800	1.0	1.25	1.6	2.0	2.5	3.15	4.0	5.0	6.3	8.0	10	12.5	16
3	Hz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz						
H	200	250	315	400	500	630	800	1.0	1.25	1.6	2.0	2.5	3.15	4.0	5.0	6.3	8.0	10	12.5	16
4	Hz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz						
H	200	250	315	400	500	630	800	1.0	1.25	1.6	2.0	2.5	3.15	4.0	5.0	6.3	8.0	10	12.5	16
5	Hz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz						

Hi グループ

例：HiグループのH1バンドに周波数1.25kHzを設定する場合。
周波数1.25kHzは、MidグループのM5バンドに設定されているため、M5バンドを各グループ(MidまたはHi)で設定されていない別の周波数に変更する必要があります。変更後、周波数1.25kHzはどのバンドにも設定されていないので、HiグループのH1バンドに周波数1.25kHzを設定することができます。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを押し調整するチャンネルとバンドを切り換える

ボタンを押すごとに、設定が次の順に切り換わります。

Hi1 → Hi2 → Hi3 → Hi4 → Hi5 → Mid1 → Mid2 → Mid3
→ Mid4 → Mid5 →

2 [TUNE/TRACK]ボタンを回し調整する周波数を切り換える

ボタンを回すごとに、周波数が次の順に切り換わります。

Hi: 200Hz ↔ 250Hz ↔ 315Hz ↔ 400Hz ↔ 500Hz ↔
630Hz ↔ 800Hz ↔ 1kHz ↔ 1.25kHz ↔ 1.6kHz ↔
2kHz ↔ 2.5kHz ↔ 3.15kHz ↔ 4kHz ↔ 5kHz ↔
6.3kHz ↔ 8kHz ↔ 10kHz ↔ 12.5kHz ↔ 16kHz
Mid: 63Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 125Hz ↔ 160Hz ↔
200Hz ↔ 250Hz ↔ 315Hz ↔ 400Hz ↔ 500Hz ↔
630Hz ↔ 800Hz ↔ 1kHz ↔ 1.25kHz ↔ 1.6kHz ↔
2kHz ↔ 2.5kHz ↔ 3.15kHz ↔ 4kHz ↔ 5kHz ↔
6.3kHz ↔ 8kHz ↔ 10kHz ↔ 12.5kHz ↔ 16kHz

3 [∧(SEEK)/V(FAST)]ボタンを押す

各周波数のレベルを調整します。

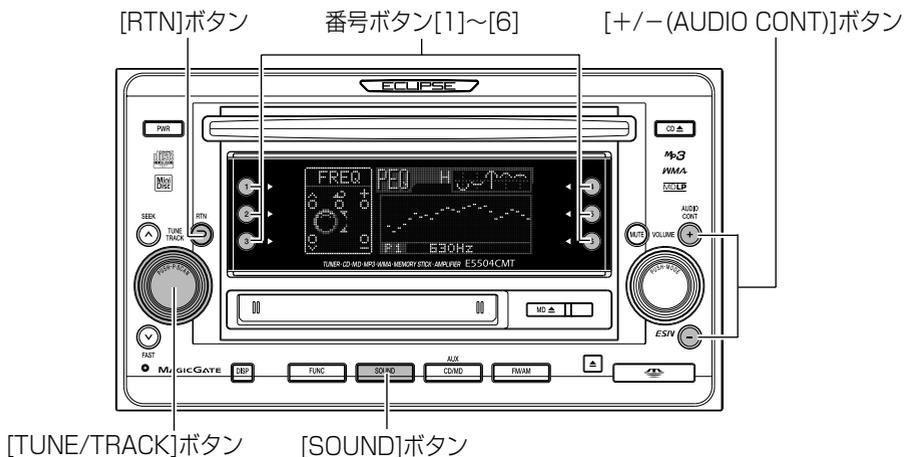
[∧(SEEK)]ボタン……大きくなる

[V(FAST)]ボタン……小さくなる



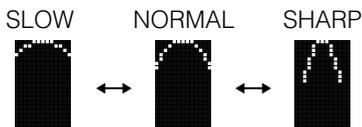
ワンポイント

- ・となりあわせの周波数のレベルを共に最大まで上げると、音が歪む原因となります。
- ・PEQは、各周波数のレベルが均一になるよう調整します。音圧が大きい帯域(ピーク)を小さい帯域に合わせるようにゲインを調整するとより効果的です。



4 [+/- (AUDIO CONT)] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、Qカーブパターンが次の順に切り換わります。



[+] ボタン ……カーブが急になる

[-] ボタン ……カーブがゆるくなる

5 ①から④の操作をくり返して残りのバンドを調整する

各バンドで同じ周波数は選択できません。

6 記憶させる番号ボタン[1]~[5]のいずれかを長めに(2秒以上)押す

調整したレベルが記憶されます。この時、タイムアライメント(104ページ参照)とクロスオーバ(106ページ参照)の調整状態も同時に記憶されます。イコライザモードを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

7 [RTN] ボタンを押す

プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。

8 [SOUND]、または[RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(7の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

記憶したイコライザモードを呼び出す

プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したイコライザモードを呼び出します。

- ❶ [TUNE/TRACK]ボタンを回しPEQを選択する
- ❷ [TUNE/TRACK]ボタンを押す
- ❸ プリセットボタン[1]～[5]のいずれかを押す
記憶されたプリセットパターンが呼び出されます。
- ❹ [RTN]ボタンを押す
プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- ❺ [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(❹の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



ワンポイント

- ・プリセットパターンを呼び出した場合、イコライザモードは「USER ○」
↑1～5 (プリセット番号)と表示されます。
- ・プリセットボタン[6]は、E-iSERVからダウンロードした音質データを呼び出すときに使用します。



車室内の周波数特性(f特)を測定・表示する

車室内の周波数特性を測定して、ディスプレイに表示することができます。パラメトリックイコライザを調整するとき、この測定結果を参考にすることができます。また、E-iSERV連携音響カスタマイズでパラメトリックイコライザの自動補正をする時にもこの測定結果が必要になります。



ワンポイント

- ・周波数特性を測定する前に、タイムアライメントの調整(104ページ)およびクロスオーバーの調整(106ページ)をしてください。
- ・周波数特性を測定する前に、ラウドネスをOFFにしてください。(ラウドネスの切り換えは、29ページを参照してください。)

1 付属のマイクを本機のAUX端子に接続する

マイク本体は、実際の耳の位置に合わせ、ヘッドレスト等へ取り付けてください。(取り付ける際は、テープ・ひも等で固定してください。)

2 [TUNE/TRACK] ボタンを回しPEQを選択する

3 [TUNE/TRACK] ボタンを押す

4 [DISP] ボタンを長めに(2秒以上)押す

ピンクノイズがスピーカーから出力されて、周波数特性の測定を開始します。測定中は、「Measuring」がディスプレイに表示されます。測定が終了すると、測定結果がディスプレイに表示されます。測定中にボリュームを調整する([MODE]ボタンを回す)と測定をやり直します。測定を中止する場合は、再度[DISP]ボタンを押してください。



ワンポイント

- ・車のドアやウインドウガラスは、閉めた状態で測定してください。
- ・ピンクノイズのボリュームレベルが大きいか、または小さいため、測定が不能になった場合は、「VOL DOWN」、または「VOL UP」が表示されます。この場合は、表示が消えるまでボリュームを調整してください。



注意

本機能は特を簡易的に測定するため、条件によって測定結果に多少の誤差が生じることがあります。また、測定機等を用いた精密な測定には対応していません。

5 [RTN]ボタンを押す

プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。

6 [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(5の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

[^ (SEEK)/V (FAST)]ボタン [RTN]ボタン



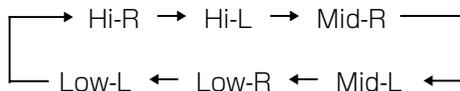
[TUNE/TRACK]ボタン

[SOUND]ボタン

タイムアライメントの設定 (TimeAlignment)

それぞれのスピーカーごとに音の遅延時間とレベルを調整することで、リスニングポジションによる音の定位のズレを補正することができます。

- 1 [TUNE/TRACK]ボタンを押し調整するスピーカーを切り換えるボタンを押すごとに、設定が次の順に切り換わります。



- 2 [TUNE/TRACK]ボタンを回し一番遠いスピーカーに合わせて、音の到達遅延時間を調整する

遅延時間は0.0~5.0ms(0.1ms毎)で調整することができます。

右に回す ……………時間が増える

左に回す ……………時間が減る

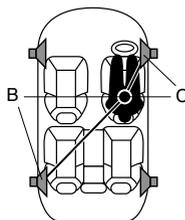
遅延時間の算出方法は下記を参照してください。

$$A = (B - C) / 34$$

A: 遅延時間(ms)

B: リスニングポジションから一番遠いスピーカーまでの距離(cm)

C: リスニングポジションから調整する各スピーカーまでの距離(cm)



(例) リスニングポジション：運転席(右)

B：200(cm)

C：50(cm)

$$\text{遅延時間} = 200(\text{cm}) - 50(\text{cm}) \div 34 \div 4.4(\text{ms})$$

3 [∧(SEEK)/∨(FAST)]ボタンを押しスピーカーのレベルを調整する

各スピーカーのレベルは0～-30dBで調整することができます。

[∧(SEEK)]ボタン……大きくなる

[∨(FAST)]ボタン……小さくなる

4 1～3の操作をくり返してその他のスピーカーを調整する

5 [RTN]ボタンを押す

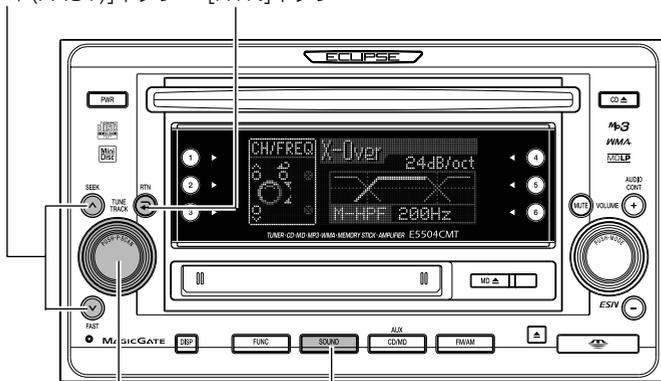
プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。

6 [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(5の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

[^ (SEEK)/V (FAST)]ボタン [RTN]ボタン



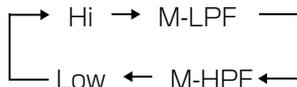
[TUNE/TRACK]ボタン

[SOUND]ボタン

クロスオーバーの設定(X-Over)

各帯域に応じたスピーカー(高域用：ツイータ、中域用：Mid、低域用：ウーファ)を組み合わせた3wayスピーカーシステムに対応しています。この場合のクロスオーバーは高域用スピーカーではHPF、中域用スピーカーではHPF、LPF、低域用スピーカーではLPFにより再生帯域を調整し、各スピーカー間の音のつながりをよくすることができます。

- [TUNE/TRACK]ボタンを押し調整するチャンネルを切り換える**
ボタンを押すごとに、設定が次の順に切り換わります。



- [TUNE/TRACK]ボタンを回しカットオフ周波数を選択する**

ボタンを回すごとに、周波数が次の順に切り換わります。

Hi / M-LPF: 200Hz ↔ 250Hz ↔ 315Hz ↔ 400Hz ↔
 500Hz ↔ 630Hz ↔ 800Hz ↔ 1kHz ↔
 1.25kHz ↔ 1.6kHz ↔ 2kHz ↔ 2.5kHz ↔
 3.15kHz ↔ 4kHz ↔ 5kHz ↔ 6.3kHz ↔ 8kHz
 ↔ 10kHz

M-HPF / Low: 63Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 125Hz ↔
 160Hz ↔ 200Hz

3 [∧(SEEK)/V(FAST)]ボタンを押しスロープを設定する

[∧(SEEK)]ボタン……スロープをゆるくする

[V(FAST)]ボタン……スロープをきつくする

スロープはPASS、6dB/oct、12dB/oct、18dB/oct、24dB/octから選択することができます。



ウーファを接続していない場合は、スロープ調整を「PASS」に設定してください。(スロープを「PASS」以外に設定すると、スピーカーからの低域が遮断されます。)

4 **1**～**3**の操作をくり返してその他のチャンネルを調整する**5** [RTN]ボタンを押す

プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。

6 [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(**5**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)**マルチハーモナイザの設定 (Harmonizer)**

MP3/WMAやATRAC3の圧縮処理により損なわれた音域をできるだけ原音に戻す補正レベルを設定することができます。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを回し補正レベルを選択する

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わり、選択された項目は文字が反転します。

**2** [RTN]ボタンを押す

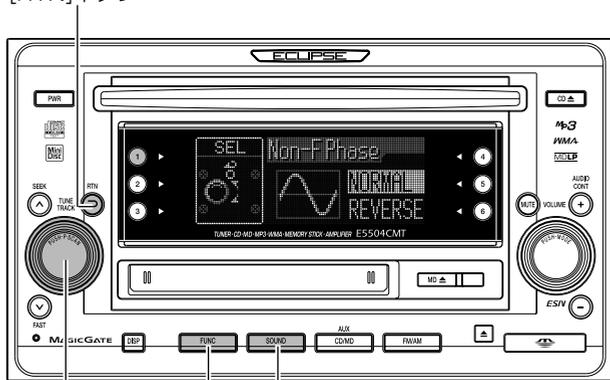
プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(**2**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

[RTN]ボタン



[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン [SOUND]ボタン

ノンフェーダーフェーズの切り換え (Non-F Phase)

位相を切り換えることでフロント・リヤスピーカーとウーファの音のつながりを改善することができます。

位相を切り換え、違和感なく音がつながる方を選んでください。

- 1 [TUNE/TRACK]ボタンを回し正相 (NORMAL)、逆相 (REVERSE)を選択する
- 2 [RTN]ボタンを押す
プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 3 [SOUND]、または[RTN]ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(2の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

音質データの書き出し/取り込み

音質データの書き出し

本機の音質データを“メモリースティック”に書き出すことができます。そのデータを使用して、E-iSERV連携音響カスタマイズで音質を調整することができます。

- 1 データを書き出す“メモリースティック”を挿入する
- 2 [FUNC]ボタンを短く(1秒未満)押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 3 [TUNE/TRACK]ボタンを回し「Memory Stick」を選択する

4 [TUNE/TRACK] ボタンを押す

“メモリースティック” 設定モードに切り換わります。

5 [TUNE/TRACK] ボタンを回し「Data Write」を選択する**6 [TUNE/TRACK] ボタンを押す**

ディスプレイに「OK？」が表示されます。

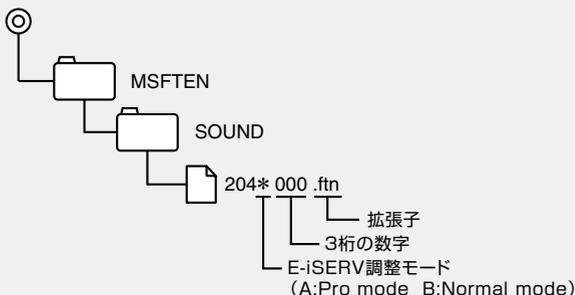
7 [TUNE/TRACK] ボタンを押す

“メモリースティック” にデータが書き出されます。データの書き込み中は、「Writing」が表示されます。データ書き込み後、ディスプレイに「Completed」が表示されて、“メモリースティック” 設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。



ワンポイント

- ・ “メモリースティック” には次のように書き込まれます。



- ・ E-iSERV連携音響カスタマイズに必要なフォルダおよびファイルは“メモリースティック” に書き出したときに自動で作成されます。
- ・ E-iSERVへデータをアップロードするときは、“メモリースティック” 内の **MSFTEN** - **SOUND** にあるファイルを選択してください。

8 [RTN] ボタンを押す

“メモリースティック” 設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。

9 [RTN] ボタンを押す

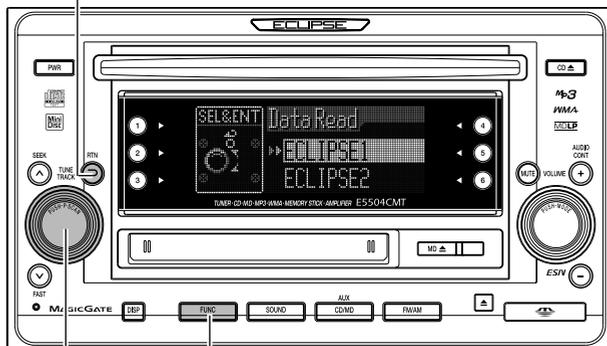
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

10 [FUNC]、または[RTN] ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(**8**、**9**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

[RTN]ボタン



[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン

音質データの取り込み

E-iSERV連携音響カスタマイズから“メモリースティック”にダウンロードした音質データを本機に取り込み、記憶することができます。

- 1 音質データを取り込む“メモリースティック”を挿入する
- 2 [FUNC]ボタンを短く(1秒未満)押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 3 [TUNE/TRACK]ボタンを回し「Data Read」を選択する
- 4 [TUNE/TRACK]ボタンを押す
- 5 [TUNE/TRACK]ボタンを回し取り込むファイルを選択する
- 6 [TUNE/TRACK]ボタンを押す
ディスプレイに「OK?」が表示されます。

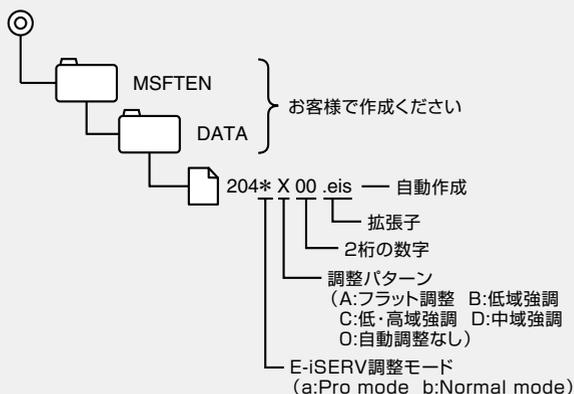
7 [TUNE/TRACK]ボタンを押す

“メモリースティック”からデータが取り込まれます。データ取り込み後、ディスプレイに「Completed」が表示されて、ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。



ワンポイント

- ・E-iSERVからダウンロードしたデータは次のように“メモリースティック”内に作成されたフォルダに保存されます。



- ・本機に取り込みが可能なファイルはE-iSERVからダウンロードしたときに自動で作成されます。
- ・取り込まれた音質データ(パラメトリックイコライザの調整値、クロスオーバーの調整値、タイムアライメントの調整値)は、プリセットボタン[6]に自動で記憶されます。
- ・通常モードで調整したタイムアライメント、クロスオーバーの値を呼び出す場合は、イコライザ設定モードでプリセットボタン[6]を長めに(2秒以上)押ししてください。
- ・プロモードで調整したタイムアライメント、クロスオーバーの値、または自動補正されたパラメトリックイコライザの値を呼び出す場合は、パラメトリックイコライザ設定モードでプリセットボタン[6]を長めに(2秒以上)押ししてください。

8 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

ESNセキュリティーの操作

ESNについて

本機は、ESN(ECLIPSE Security Network)機能を搭載しています。ESNは、あらかじめ本機に登録した音楽CD(Key CD)、暗証番号(4桁)や、暗証番号が記録された“メモリースティック”が必要になります。これらのいずれかが無いと、車両の整備などでバッテリーとの接続が外されたときや、エンジンスイッチをOFFにしたとき、再度バッテリーの接続や、エンジンスイッチをACC、またはONにしても全ての機能が動作しなくなります。

ESNは、次のいずれかの方法で設定、解除をすることができます。

●**Key CD セキュリティー**(114ページ) :

お手持ちの音楽CDを「Key CD」として、本機に登録して、そのCDでセキュリティーの設定、解除を行います。

●**“メモリースティック” セキュリティー**(117ページ) :

“メモリースティック” および本機に暗証番号を登録して、“メモリースティック”、または暗証番号と本機との照合によりセキュリティーの設定、解除を行います。

●**ACCセキュリティー**(124ページ) :

“メモリースティック” セキュリティーが設定されているときのみ使用することができます。ACCセキュリティーを設定すると、エンジンスイッチのOFF後、再度エンジンスイッチをACCにした場合、全ての機能が無効になります。



セキュリティタイプ(Key CDセキュリティ、“メモリースティック”セキュリティ)の切り換え

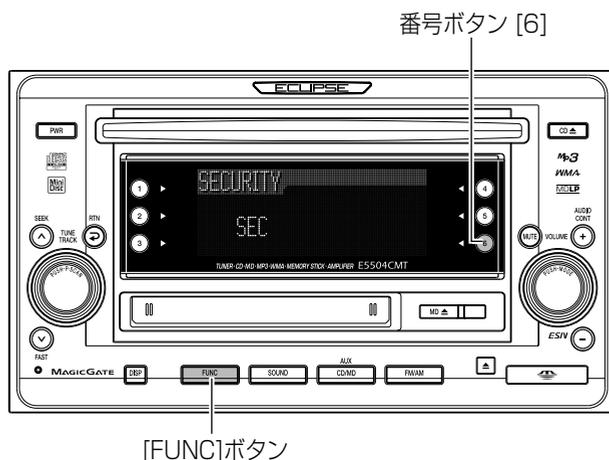
セキュリティタイプ(Key CDセキュリティ、“メモリースティック”セキュリティ)を切り換えることができます。初期状態では、Key CDセキュリティを設定することができる状態になっています。

- 1** 本機の電源がOFFになっていることを確認する
- 2** 番号ボタン[3]および[FUNC]ボタンを同時に2秒以上押す

ボタンを押すごとにKey CDセキュリティ(TOC SEC)と“メモリースティック”セキュリティ(MS SEC)が切り換わります。



すでにセキュリティが設定されているときは、切り換えをすることはできません。



ESN(Key CDセキュリティ)の操作

Key CDの登録

お手持ちの音楽CDをKey CDとして本機に登録します。

- 1 本機の電源がOFFになっていることを確認する
- 2 番号ボタン[6]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押す
ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されて、表示が「DISC」に切り換わります。



ワンポイント

- ・すでにCDが挿入されている場合、ディスプレイに「SEC」が表示された後、CDが排出されます。
- ・すでにセキュリティが設定されているときは、Key CDを登録をすることはできません。

3 CDを挿入する

ディスプレイに「SEC」が表示されて、Key CDが登録されます。その後、CDが排出されます。



ワンポイント

- ・CD-R/RW、CCCD(コピーコントロールCD)およびMP3やWMAのCD-ROMは、使用することができません。
- ・CDに問題がある場合、ディスプレイに「ERR」が2秒間表示されて、CDが排出されます。再度CDを挿入してみてください。
- ・2回続けて、ディスプレイに「ERR」が表示されると、「CHANGE」が2秒間表示されます。この場合は他の音楽CDで試してください。
- ・セキュリティが設定されると本機の電源がALL OFF、またはエンジンスイッチがOFFのときは、セキュリティインジケータを点滅させることができます。「セキュリティインジケータの表示」(125ページ)を参照してください。
- ・登録したKey CDは、登録を解除する時などに必要になります。登録したCD(アルバム名)を忘れた時の確認用にメモしておくことをお勧めします。

Key CD登録の解除

Key CDの登録を解除して、セキュリティーが動作しない状態にします。

- 1 本機の電源がOFFになっていることを確認する**
- 2 番号ボタン[6]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押す**
ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されて、表示が「DISC」に切り換わります。



ワンポイント

すでにCDが挿入されている場合、ディスプレイに「SEC」が表示された後、CDが排出されます。

- 3 Key CDを挿入する**
ディスプレイに「CANCEL」が表示されて、Key CDが排出されます。Key CDの登録は解除されます。



ワンポイント

Key CD以外のCDを挿入した場合、登録の解除はキャンセルされます。その時、ディスプレイに「ERR」が2秒間表示されて、CDの再生が始まります。

Key CDの変更

本機に登録されているKey CDを他のCDに変更することができます。

- 1 Key CDの登録を消去する**
「Key CD登録の解除」(前項目)を参照してください。
- 2 別のKey CDを登録する**
「Key CDの登録」(前ページ)を参照してください。



動作ロック状態の解除

車両の整備などでバッテリーとの接続が断られた場合、ESN機能が働き動作ロック状態になります。(Key CDが登録されている場合のみ)この場合、再度電源をONにしても通常に動作しません。動作ロック状態を解除するには、次の操作が必要になります。

- 1 バッテリー接続後、本機の電源をONにしたとき、ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されます。その後、ディスプレイに「DISC」が表示されます
- 2 Key CDを挿入する

挿入したCDがKey CDと認識された場合、ディスプレイに「OK」が2秒間表示されて、動作ロック状態が解除されます。その後、CDの再生が始まります。



ワンポイント

- ・挿入したCDがKey CDと認識されなかった場合、CDが排出された後、ディスプレイに「ERR_」(ERRおよびエラー回数)が2秒間表示されます。
- ・ディスプレイに「ERR5」(エラー回数5回目)が表示されると、「HELP」が表示されて、CDが排出されます。この場合は、お客様相談窓口までご連絡ください。(ご連絡先は、「アフターサービスについて」(151ページ)を参照してください。)
- ・複製されたCDでは動作ロック状態を解除することができません。

ESN(“メモリースティック”セキュリティ)の操作

“メモリースティック”セキュリティは、暗証番号を本機および“メモリースティック”に登録します。その“メモリースティック”、または暗証番号で動作ロック状態の解除を行います。

暗証番号の登録

- 1 本機の電源がOFFになっていることを確認する
- 2 番号ボタン[1]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押す
ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されて、表示が「MS」に切り換わります。



ワンポイント

- ・すでに“メモリースティック”が挿入されている場合は、ディスプレイに「MS EJECT」が表示されます。この場合、“メモリースティック”を取り出してください。
- ・すでにセキュリティが設定されているときは、暗証番号を登録することはできません。

- 3 “メモリースティック”を挿入する
ディスプレイに「- - -」(暗証番号入力表示)が表示されます。
- 4 番号ボタン[1]～[4]を押して、暗証番号を入力する
暗証番号は、0～9、A～Fの数字およびアルファベットを4桁入力します。各番号ボタンを押すごとに、0～9、A～Fの数字およびアルファベットが順番に切り換わります。各番号ボタンの数字(1～4)が入力する桁数(1桁目～4桁目)になります。
- 5 [FUNC] ボタンを1秒以上押す
本機に暗証番号が登録されて、セキュリティが設定されます。また、“メモリースティック”には登録した内容が暗号化されて、書き込まれます。



ワンポイント

音楽データなどが混在している“メモリースティック”で登録した場合は、登録データを消去しないように注意してください。

- 6 “メモリースティック”を取り出す



ワンポイント

登録した暗証番号および“メモリースティック”は、登録を解除する時などに必要になります。登録した暗証番号および“メモリースティック”を忘れた時の確認用にメモしておくことをお勧めします。



“メモリスティック”セキュリティの解除

本機に登録した暗証番号、または登録時に使用した“メモリスティック”との照合により、セキュリティを解除することができます。セキュリティ機能の解除は、暗証番号を本機に直接入力する方法と、暗証番号の登録時に使用した“メモリスティック”で解除する方法と2通りあります。

暗証番号入力でセキュリティを解除する

- 1 本機の電源がOFFになっていることを確認する**
- 2 番号ボタン[1]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押す**
ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されて、表示が「- - - -」（暗証番号入力表示）に切り換わります。
- 3 番号ボタン[1]~[4]を押して、本機に登録した暗証番号を入力する**
暗証番号は、0~9、A~Fの数字およびアルファベットを4桁入力します。各番号ボタンを押すごとに、0~9、A~Fの数字およびアルファベットが順番に切り換わります。各番号ボタンの数字(1~4)が入力する桁数(1桁目~4桁目)になります。
- 4 [FUNC] ボタンを1秒以上押す**
本機との照合で暗証番号が一致した場合は、ディスプレイに「CANCEL」が表示されて、セキュリティが解除されます。



ワンポイント

本機との照合で暗証番号が一致しなかった場合は、ディスプレイに「ERR」が表示されて、セキュリティは解除されず、通常の動作に戻ります。

“メモリースティック”でセキュリティを解除する

- 1 本機の電源がOFFになっていることを確認する
- 2 番号ボタン[1]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押す
ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されて、表示が「- - - -」(暗証番号入力表示)に切り換わります。
- 3 [CD/MD]ボタンを押す
ディスプレイに「MS」が表示されます。再度[CD/MD]ボタンを押すと、表示が「- - - -」(暗証番号入力表示)に戻ります。



ワンポイント

すでに“メモリースティック”が挿入されている場合は、ディスプレイに「MS EJECT」が表示されます。この場合は、“メモリースティック”を取り出してください。

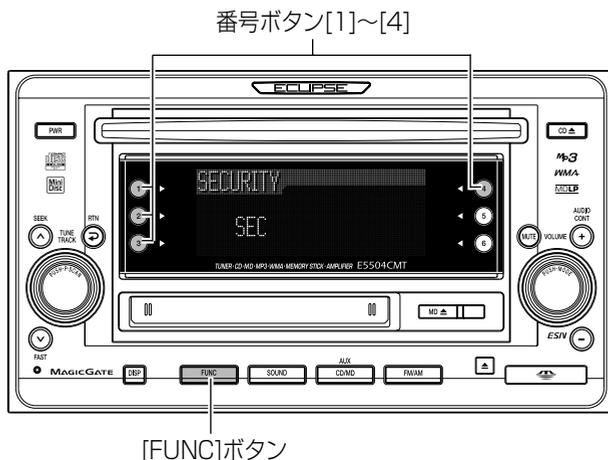
- 4 “メモリースティック”を挿入する
登録データの読み込みが始まります。
- 5 本機との照合で“メモリースティック”の登録内容が一致した場合、ディスプレイに「CANCEL」が表示されます
セキュリティが解除されて、通常の動作に戻ります。



ワンポイント

- ・読み込みに失敗、または他の“メモリースティック”を挿入した場合は、ディスプレイに「ERR」が2秒間表示されて、表示が「MS EJECT」に切り換わります。この場合、“メモリースティック”を取り出して、“メモリースティック”を確認してください。
- ・セキュリティの登録内容が記録された“メモリースティック”をフォーマットすると、この方法では解除することができなくなります。

- 6 “メモリースティック”を取り出す



暗証番号の変更

本機に登録されている“メモリースティック”および暗証番号を他の“メモリースティック”および暗証番号に変更して登録させることができます。

1 本機の登録されている暗証番号を消去する

「“メモリースティック”セキュリティの解除」(118ページ)を参照してください。

2 変更する暗証番号および“メモリースティック”を再登録する

「暗証番号の登録」(117ページ)を参照してください。

動作ロック状態の解除

車両の整備などでバッテリーとの接続が断たれた場合、またはACCセキュリティが設定された状態でエンジンスイッチをOFFにしたときは、ESNのセキュリティ機能は動作ロック状態になります。(暗証番号が登録されている場合のみ)この場合、再度電源をONにしても通常に動作しません。動作ロック状態を解除するには、次の操作が必要になります。動作ロック状態の解除は、暗証番号を本機に直接入力して解除する方法と、暗証番号の登録時に使用した“メモリースティック”で解除する方法と2通りあります。

暗証番号入力で動作ロック状態を解除する

- 1 本機の電源をONにしたとき、ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されます。その後、「- - -」(暗証番号入力表示)が表示されます

2 番号ボタン[1]～[4]を押して、本機に登録した暗証番号を入力する

暗証番号は、0～9、A～Fの数字およびアルファベットを4桁入力します。各番号ボタンを押すごとに、0～9、A～Fの数字およびアルファベットが順番に切り換わります。各番号ボタンの数字(1～4)が入力する桁数(1桁目～4桁目)になります。

3 [FUNC] ボタンを1秒以上押す

本機との照合で暗証番号が一致した場合は、ディスプレイに「OK」が表示されて、動作ロック状態が解除されます。



ワンポイント

- ・本機との照合で暗証番号が一致しなかった場合は、ディスプレイに「ERR_」(ERRおよびエラー回数)が2秒間表示されて、「- - -」(暗証番号入力表示)が表示されます。この場合、暗証番号を確認して再度、入力してください。
- ・ディスプレイに「ERR5」(エラー回数5回目)が表示されると、「HELP」が表示されます。この場合は、お客様相談窓口までご連絡ください。(ご連絡先は、「アフターサービスについて」(151ページ)を参照してください。)



[CD/MD]ボタン

“メモリースティック”で動作ロック状態を解除する

- 1 本機の電源をONにしたとき、ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されます。その後、「----」（暗証番号入力表示）が表示されます
- 2 [CD/MD]ボタンを押す
ディスプレイに「MS」が表示されます。再度[CD/MD]ボタンを押すと、表示が「----」（暗証番号入力表示）に戻ります。



ワンポイント

すでに“メモリースティック”が挿入されている場合は、ディスプレイに「MS EJECT」が表示されます。この場合、“メモリースティック”を取り出してください。

- 3 登録した“メモリースティック”を挿入する
登録データの読み込みが始まります。



ワンポイント

挿入した“メモリースティック”に問題がある場合は、ディスプレイに[ERR]が2秒間表示された後、「EJECT」が表示されます。この場合、“メモリースティック”を取り出して、確認してください。

4 本機との照合で“メモリースティック”の登録内容が一致した場合、ディスプレイに「OK」が2秒間表示されて、通常の動作に戻ります



- ・挿入した“メモリースティック”が登録したものと認識されなかった場合、ディスプレイに「ERR_」(ERRおよびエラー回数)が2秒間表示されて、「- - -」(暗証番号入力表示)が表示されます。“メモリースティック”を確認して、**2**からの操作を繰り返してください。
- ・セキュリティの登録内容が記録された“メモリースティック”をフォーマットすると、この方法では解除することができなくなります。
- ・ディスプレイに「ERR5」(エラー回数5回目)が表示されると、「HELP」が表示されます。この場合は、お客様相談窓口までご連絡ください。(ご連絡先は「アフターサービスについて」(151ページ)を参照してください。)



ACCセキュリティの設定

ACCセキュリティは、“メモリスティック”セキュリティで暗証番号が登録されている場合、エンジンスイッチOFF後、再度エンジンスイッチをACCにすると、動作ロック状態になります。

- 1 本機の電源がOFFになっていることを確認する
- 2 暗証番号が登録されている状態で、番号ボタン[5]および[FUNC]ボタンを同時に2秒以上押す

ディスプレイに「ACC SEC」が表示され、ACCセキュリティ機能が設定されます。

再度、番号ボタン[5]および[FUNC]ボタンを同時に2秒以上押すとACCセキュリティの設定は解除されます。



ワンポイント

- ・エンジンスイッチOFF後、再度エンジンスイッチをACCにすると、動作ロック状態となります。通常の動作に戻すには、動作ロック状態の解除が必要です。動作ロック状態の解除は、「動作ロック状態の解除」(120ページ)を参照してください。
- ・車両の整備などで、バッテリーとの接続が断たれたときは、ACCセキュリティの設定は解除されます。

セキュリティインジケータの表示

Key CDセキュリティ、または“メモリースティック”セキュリティが設定されている時、本機の電源、またはエンジンキーをOFFにすると、セキュリティインジケータが点滅します。また、点滅のON、OFFを切り換えることができます。

1 本機の電源がOFFになっていることを確認する

2 番号ボタン[2]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押す

ボタンを押すごとにセキュリティインジケータのON、OFFが切り換わります。ON、OFFを切り換えたときは、ディスプレイに「IND. ----」、または「IND. FLASH」が表示されます。

「IND. ----」 ……………セキュリティインジケータは点滅されません

「IND. FLASH」 ……セキュリティインジケータは点滅されます

電子シリアルナンバー(Electronic Serial Number)の表示

1 本機の電源がOFFになっていることを確認する

2 番号ボタン[4]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押す

「ESN」がディスプレイに表示された後、8桁の数字が表示されます。この数字はその機器の電子シリアルナンバー(Electronic Serial Number : ESN)です。本人のものと証明することができます。

(別売)CDオートチェンジャー/MDチェンジャーを接続したときの操作

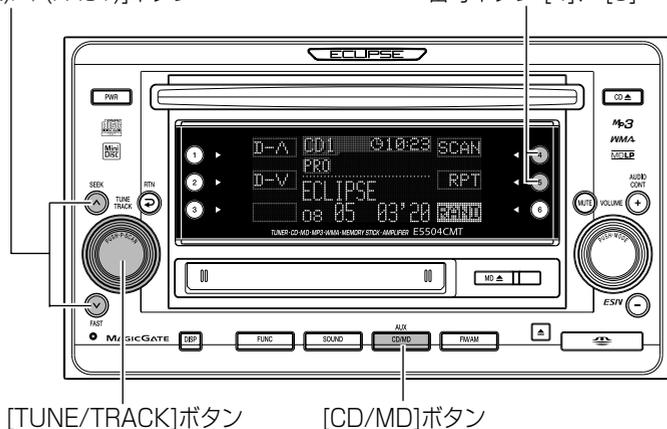
CDオートチェンジャーおよびMDチェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。MP3/WMAファイルが収録されているCDや長時間モード(MDLPモード)で録音されたMDは、録音方式が異なりますので、再生できません。(無音状態となります)



- ・MDのグループ機能には対応していません。
- ・CD TEXTは表示できません。

[^/(SEEK)/V(FAST)]ボタン

番号ボタン [4]、[5]



[TUNE/TRACK]ボタン

[CD/MD]ボタン

CDオートチェンジャー/MDチェンジャーモードに切り換える

別売のCDオートチェンジャーやMDチェンジャーにディスクが挿入されている場合、再生中のディスクの演奏が終了すると、自動的に次のディスクを再生します。この時CD→MD、MD→CDといったディスクモードの切り換えは行われません。

1 [CD/MD]ボタンを押しCDチェンジャーモードまたはMDチェンジャーモードに切り換える

ボタンを押すごとにCDプレーヤー(CDP)→ CDオートチェンジャー(CDC)→ MDプレーヤー(MDP)→ MDチェンジャー(MDC)→ “メモリスティック” プレーヤー(MS)の順に切り換わります。

ディスクが挿入されていない、または接続されていない機器は、飛ばして切り換わります。



注意

CDやMDにキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。

次の曲に進む/曲の頭に戻る

1 [TUNE/TRACK]ボタンを回す

右に回す ……次の曲に進む

左に回す ……演奏中の曲の頭(繰り返し回すと前の曲)に戻る

早送り・早戻しする

1 [∧(SEEK)/V(FAST)]ボタンを押しつづける

[∧(SEEK)]ボタン ……早送りする

[V(FAST)]ボタン ……早戻しする

曲の始まりを演奏する(スキャン)^{スキャン}(SCAN)

1 番号ボタン[4]を押す

演奏しているCD、MD全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。

「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、挿入している全CD、MDの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

再度番号ボタン[4]を押すと解除されます。

繰り返し演奏する(リピート)^{リピート}(REPEAT)

1 番号ボタン[5]を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。

「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のCD、MD内の全曲を繰り返し再生します。

再度番号ボタン[5]を押すと解除されます。



【TUNE/TRACK】ボタン

曲の順番を変えて演奏する(ランダム)

1 番号ボタン[6]を押す

演奏中のCD、MD内の曲を順不同に演奏します。

「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、挿入している全CD、MD内の曲を順不同に演奏します。

再度番号ボタン[6]を押すと解除されます。



ワンポイント

- ・RANDOMを選択中に、番号ボタン[5]を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン[5]を押すと、RANDOMに戻ります。

繰り返し再生される曲は下記になります。

- ・曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
- ・次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。
- ・まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- ・「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「ALL-SCAN」、「RPT」、「ALL-RPT」、「RAND」、「ALL-RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。(ディスプレイ表示パターンType Bの時)

次のディスクに進む/前のディスクに戻る

1 番号ボタン[1]または[2]を押す

番号ボタン[1]……………ディスク番号が上のディスク(次のディスク)へ
移る

番号ボタン[2]……………ディスク番号が下のディスク(前のディスク)へ
移る

演奏するディスクを指定する

挿入しているディスクのうち、お聞きになりたいディスクをダイレクトに指定することができます。

挿入できるディスク数に合わせ、MDは最高3枚、CDは最高12枚から選択することができます。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを押す

2 番号ボタン[1]～[6]のいずれかを押す

MDの場合、番号ボタン[1]～[3]までが対応しています。

番号ボタン	1	2	3	4	5	6
ディスク番号	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12

ディスク番号7～12を指定するときは、番号ボタンを長めに(1秒以上)押してください。

[∧(SEEK)/V(FAST)]ボタン [RTN]ボタン



[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン

CDのタイトルを設定する

CDにタイトルをつけ、表示させることができます。



- ・最大で30枚分のタイトルを記憶させることができます。
- ・タイトルは、最大12文字まで入力できます。
- ・CD TEXTにタイトルまたは曲名が記録されているときは、この機能はご使用になれません。

タイトルを設定したいディスクを選んでから以下の動作を行ってください。

1 [FUNC]ボタンを押す

ファンクションモードに切り換わります。

2 [TUNE/TRACK]ボタンを回し「Title」を選択し [TUNE/TRACK]ボタンを押す

ディスクタイトル設定モードになります。

3 [∧(SEEK)]ボタンを押し入力する文字の種類を選択する

ボタンを押すごとに、「ABC」(大文字アルファベット)、「アイウ」(カナ)、「123」(数字)、「! ” #」(記号)の順に表示が切り換わります。

4 [TUNE/TRACK]、または[V (FAST)]ボタンを押し入力する文字位置を選択する

点滅している位置に文字が入力されます。

[TUNE/TRACK]ボタン……………右に進む

[V (FAST)]ボタン ……………左に戻る

5 [TUNE/TRACK]ボタンを回し文字を選択する

右に回す ……………次の文字に進む

左に回す ……………前の文字に戻る

[大文字/アルファベット]初期値[A] 【右方向】

A → B → C → …X → Y → Z

[カタカナ]初期値[ア] 【右方向】

ア → イ → ウ → エ → オ → …ワ → ラ → ン → ア → イ → ウ → エ → オ → ヤ → ユ → ヨ → ツ → * → °

[数字]初期値[1] 【右方向】

1 → 2 → 3 → …8 → 9 → 0

[記号]初期値[!] 【右方向】

! → * → # → \$ → % → & → ' → (→) → * → + → , → - → . → / → : → ; → < → = → > → ? → @ → ' → _



ワンポイント

- ・入力する文字の種類を変更するときは、**3**～**5**の手順を繰り返してください。
- ・文字は最大12文字まで入力できます。

6 [RTN]ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

7 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(**6**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)



設定したタイトルを変更する

- 1 [FUNC]ボタンを押す**
ファンクションモードに切り換わります。
- 2 [TUNE/TRACK]ボタンを回し「Title」を選択して、[TUNE/TRACK]ボタンを押す**
ディスクタイトル設定モードになります。
- 3 [TUNE/TRACK]ボタン、または[V(FAST)]ボタンを押し変更したい文字を点滅させる**
[TUNE/TRACK]ボタン……………右に進む
[V(FAST)]ボタン……………左に戻る
- 4 [TUNE/TRACK]ボタンを回し入力する文字を選択する**
右に回す……………次の文字に進む
左に回す……………前の文字に戻る
- 5 [RTN]ボタンを押す**
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す**
ファンクションモードが解除されます。
(5の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

設定したタイトルを削除する

- 1 [FUNC]ボタンを押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2 [TUNE/TRACK]ボタンを回し「Title」を選択して、
[TUNE/TRACK]ボタンを押す
ディスクタイトル設定モードになります。
- 3 「DELETE」と表示が出るまで番号ボタン[6]を押す
- 4 [RTN]ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 5 [FUNC]、または[RTN]ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(4の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除され
ます。)

MD演奏時の表示を切り換える

MDにタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらを表示させることができます。表示部には、最大12文字まで表示されます。
ディスクタイトルやトラックタイトルが記録されていない場合、NO TITLE
と表示されます。

- 1 [DISP]ボタンを長めに(1秒以上)押す
ディスクタイトルがスクロール表示された後にトラックタイトルがスク
ロール表示されます。
トラックタイトルがスクロール表示された後、固定表示になります。



注意

- ・本機の表示部にMDのタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。
- ・入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。
- ・ディスクによって全てのタイトル文字が表示されないことがあります。
- ・本機で表示することができる文字は、英数字および記号です。それ以外の文字は、* (アスタリスク)で表示されます。

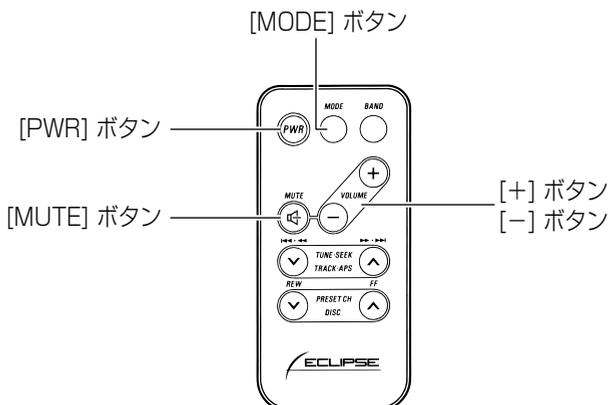
リモコンの操作

使用上の注意

- ・リモコンは小型で軽量なため取り扱いには注意してください。落としたりぶつけたりすると、破損したり、電池の消耗を早めたり、誤動作の原因になります。
- ・リモコンは湿気、ほこりを避け、ショックを加えたり、水などをかけたりしないでください。
- ・ダッシュボードなど直射日光のあたる場所には置かないでください。
- ・運転の妨げにならないようにご使用ください。

清掃について

- ・リモコンのお手入れの際は、乾いた布(汚れがひどい場合は水を少しつけて堅くしぼった布)で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使うと、ケースや塗装が変質しますので、絶対に使用しないでください。



電源を入れる/切る

1 [PWR]ボタンを押す

ボタンを押すごとに電源が入ったり、切れたりします。



本体の[PWR]ボタンを長めに(2秒以上)押してALL OFF状態になっている場合は、リモコンによる操作はできません。

音量を調節する

1 [+]ボタンまたは[-]ボタンを押す

[+]ボタン ……音量が上がる

[-]ボタン ……音量が下がる

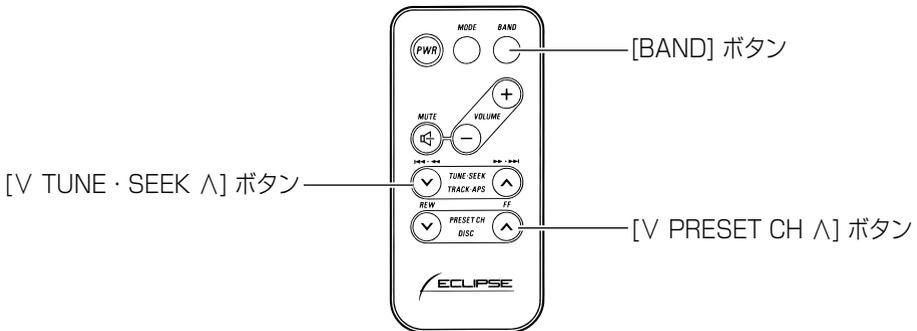
瞬時に音量を下げる(ミュート)

[MUTE]ボタンを押すたびに、瞬時に音量を小さくしたり、元に戻したりすることができます。

機能を切り換える

1 [MODE]ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ラジオ→ディスクモード→“メモリースティック”→AUXの順に切り換わります。



ラジオ利用時の操作

FM/AMを切り換える

1 [BAND] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、FM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

放送局を選ぶ(自動・手動)

ボタンを短く(1秒未満)押すと手動で、長めに(2秒以上)押すと自動で放送局を選べます。

1 [V TUNE · SEEK Δ] ボタンを押す

[Δ]ボタン ……周波数の高い方へ選局

[V]ボタン ……周波数の低い方へ選局

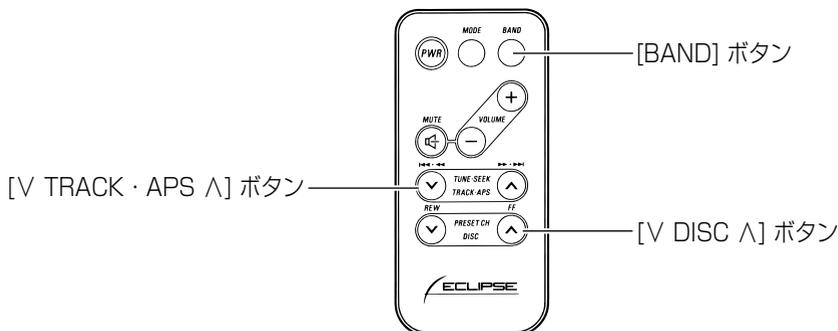
記憶済みの放送局を選ぶ

本体で記憶させた6つの放送局(プリセット選局)から呼び出します。
(「手動で放送局を記憶させる」69ページ参照)

1 [V PRESET CH Δ] ボタンを押す

[Δ]ボタン ……プリセット番号の高い方へ選局

[V]ボタン ……プリセット番号の低い方へ選局



CD、MD利用時の操作

次の曲に進む/曲の頭に戻る

- [V TRACK · APS ^] ボタンを押す**
 [^]ボタン……………次の曲に進む
 [V]ボタン……………演奏中の曲の頭に戻る



ワンポイント

ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(△方向)または早戻し(V方向)します。

次のディスクに進む/前のディスクに戻る

CD(MD)チェンジャー接続時のみ

- [V DISC ^] ボタンを押す**
 [^]ボタン……………ディスク番号が上のディスク(次のディスク)へ移動
 [V]ボタン……………ディスク番号が下のディスク(前のディスク)へ移動

ディスクモードを切り換える

- [BAND] ボタンを押す**
 CD(MD)チェンジャーを接続しているときは、ボタンを押すごとに、CDプレーヤー(CDP)→CDオートチェンジャー(CDC)→MDプレーヤー(MDP)→MDチェンジャー(MDC)の順に切り換わります。
 ディスクが挿入されていない、または接続されていない機器は、飛ばして切り換わります。

電池を交換する



事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

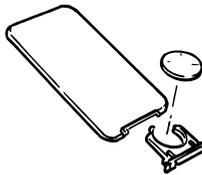
電池は、CR2025(1個)をご使用ください。

- 1 リモコン裏面にある引き出し口のロックを右に動かしながら、引き出し口につめをひっかけて電池ケースを引き出す

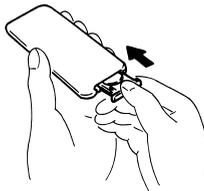


- 2 電池を入れ替える

+表示を上にして電池をセットしてください。



- 3 カチッと音がするまで引き出し口を差し込んで電池ケースを閉める



誤って電池を飲み込むことのないよう、取り扱いには十分注意してください。

困ったときは

お問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。



ボタンを押しても正常に動作しない、ディスプレイが誤表示するなどの異常が発生したときは、先端の尖ったもので[リセット]ボタンを押してください。



[リセット]ボタン

[リセット]ボタンを押すと記憶させた内容は消去され、すべての設定が工場出荷時の値に戻ります。

インフォメーションが点滅する

インフォメーション(「INFO No.」や「MSINFO NO.」など)が表示されたときは、下表を参考に対処してください。

また、症状が改善されない場合は、機器の故障が考えられます。お買い求めの販売店にご相談ください。

表示内容	インフォメーション	対処
INFO 2	マガジンにディスクが入っていない	ディスクを入れてください。
INFO 3	ディスクの信号面に紙やシールが貼ってあったり、キズやホコリがある	ディスククリーナ等で中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。
INFO 4*	無録音のディスクが入っている	録音済みのディスクを入れてください。
INFO 5	メカトラブル	イジェクトボタンを押して一度ディスクまたはマガジンを出し、再度ディスクまたはマガジンを挿入して再生してください。 イジェクトしてもディスクまたはマガジンが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
INFO 6	内部が高温になった	しばらく待ち、温度が下がってから再生をはじめてください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
INFO 7	内部電源が異常になっている	ACCを一度OFFにし、再度ONにしてから操作してください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
INFO 8*	ディスクの交換トラブルが発生している	ディスクを再度挿入するか、取り出してください。

※この内容は、MDのみ適用されます。

表示内容	インフォメーション	対処
CHECK	“メモリースティック”の 認証中	“メモリースティック”の認証に しばらく時間がかかります。しば らく待ち、表示が消えてからお使 いください。
MSINFO 1	“MGメモリースティック” が入っていない	“MGメモリースティック”を入 れてください。
MSINFO 2	対応していないフォーマッ トの“メモリースティック” を挿入した	本機でフォーマットしてください。
MSINFO 3	“メモリースティック”の 誤消去防止スイッチがロッ クされている	誤消去防止スイッチのロックを解 除してください。
MSINFO 4	“メモリースティック”の 容量が一杯になった	不要なデータを削除してから、再 度録音を開始してください。
MSINFO 5	“メモリースティック”に 最大曲数(400曲)を超えて 録音しようとした	不要なデータを削除してから、再 度録音を開始してください。
MSINFO 6	対応していない“メモリー スティック”を挿入した	本機で使用できる“メモリー スティック”を確認してください。
MSINFO 7	再生可能な音楽データがな い	音楽データが入っている“MGメ モリースティック”を挿入してく ださい。
MSINFO 8	再生制限付きのデータを制 限を超えて再生しようとし た	再生制限を超えた音楽データは再 生できません。再度、データを入 手してから再生してください。
MSINFO 9	再生中の再生制限付きの音 楽データが制限を超えてし まった	再生制限を超えた音楽データは再 生できません。再度、データを入 手してから再生してください。
FILE ERR	ファイルエラー	対応しているファイルが入ってい る“メモリースティック”を挿入 してください。
REC ERR	音楽CDなどから録音され たCD-R、CD-RWを“MG メモリースティック”に録 音しようとした	本機はSCMS/SDMI規格に対応 しており、音楽CDなどからデジ タル録音されたCD-R、CD-RW からは録音できません。

	症状	原因	処置	参照ページ
共通	音が出ない。 音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	26
		ミュート (MUTE) が働いていませんか。	ミュート (MUTE) を解除してください。	26
		フェーダーやバランスが片寄った設定になっていませんか。	フェーダー、バランスを適正な位置に調整してください。	26
		その他、音声信号配線の線噛みや断線、スピーカの故障やコネクタ抜けなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	電源が入らない。	一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	メモリした周波数やタイトルが消えてしまう。	お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度メモリし直してください。	69
		一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	ガイドトーン(操作音)が出ない。	ガイドトーンの設定がOFFになっていませんか。	ガイドトーンを設定し直してください。	35

	症状	原因	処置	参照ページ
ラジオ	放送を受信できない。 雑音が入る。	アンテナが収納された状態ではありませんか。	アンテナを伸ばしてください。	—
		アンテナコードは抜けていませんか。	アンテナコードを接続してください。	—
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	68
		放送サービスエリアを外れていませんか。	移動先の地域の放送周波数にセットし直してください。 (放送サービスの無い地域もありますので、ご注意ください。)	68
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用していますか。	機器の使用を停止すれば解消されます。常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—

	症状	原因	処置	参照ページ
CD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐ排出される。 または、ディスクが排出されない。 ディスクチェンジができない。	ディスクにラベルやシールなどを貼り付けていませんか。	ディスクにはラベルやシールなどを貼り付けないでください。	14
		ディスクにバリや変形、破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。 バリのあるディスクは、バリを取り去ってご使用ください。 変形や破損したディスクはご使用にならないでください。	14、 15
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚れはありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。 キズのあるディスクは、ご使用にならないでください。	14
		取付け角度は適正ですか。 取付けにガタはありませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		悪路を走行されていませんか。	悪路を走行中の使用は、できる限り避けてください。	12
		その他、ディスクに記録されている音楽ソースの音質やトラブルなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—

	症状	原因	処置	参照ページ
MD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに排出される。	ディスクカートリッジの向きに誤りはありませんか。	正しい向きにセットし直してください。	23
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていますか。	ディスクカートリッジのラベルを整えてください。	17
		ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。変形や破損したディスクは、ご使用にならないでください。	—
		無録音のディスクを使用していませんか。	録音済みのディスクをご使用ください。	—
	ディスクが排出できない。 ディスクチェンジができない。	ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。変形や破損したディスクは、ご使用にならないでください。	—
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていますか。	ディスクカートリッジのラベルを整えてください。 排出できない場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	17
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚れはありませんか。取付け角度は適正ですか。	他のディスクに入れ替えてみてください。キズのあるディスクは、ご使用にならないでください。	—
		取付けにガタはありませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		悪路を走行されていませんか。	悪路を走行中の使用は、できる限り避けてください。	12
		その他、録音に使用された機器の調子が悪い、録音ソース(CD、MDなど)の音質やトラブルなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—

仕様について

本機の仕様は、次のようになっています。

共通部

最大出力	50W×4
適合負荷インピーダンス	4Ω(各チャンネル)
電源電圧	DC13.2V(11~16V)、⊖アース専用
消費電流	0.5W×4出力時 約2A、最大約12A
寸法	178mm(幅)×100mm(高さ)×165mm(奥行)
重量	本体約2.2kg
動作温度範囲	-20℃~+65℃
保存温度範囲	-40℃~+85℃

CD部/MD部/“メモリースティック”部

周波数特性	20Hz~20kHz
ダイナミックレンジ	98dB
S/N比	100dB(IHF-Aネットワーク)
高調波歪み率	0.02%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

ラジオ部・FM

受信周波数	76.0~90.0MHz
実用感度	12dBf(新IHF)
周波数特性	30Hz~15kHz

ラジオ部・AM

受信周波数	522~1629kHz
実用感度	22μV(S/N20dB時)

AUX部

入力端子	φ3.5ステレオミニジャック
入力インピーダンス	10KΩ
最大入力	240mVrms

DSP部

周波数特性	20Hz~20kHz
S/N比	108dB(IHF-Aネットワーク)
チャンネルデバイダ	
クロスポイント周波数	
通常モード	63~200Hz(1/3octステップ)
プロモード	
Hi、Mid-LPF	200~10kHz(1/3octステップ)
Mid-HPF、Low	63~200Hz
スロープ	
通常モード	12dB/oct、PASS
プロモード	6dB/oct、12dB/oct、18dB/oct、24dB/oct、PASS
調整中心周波数	
通常モード	
GEQ	63~16kHz(2/3octステップ)
PEQ	80~12.5kHz(2/3octステップ)
プロモード(PEQのみ)	
Hi	200~16kHz(1/3octステップ)
Mid	63~16kHz(1/3octステップ)
トーン変化量	-10~+10dB(2dBステップ)

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

アフターサービスについて

- 1.この商品には保証書を添付しております。
保証書は販売店でお受け取りの際、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 2.保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- 3.調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に本書の「困ったときは」(140ページ)を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。
 - ◆修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。
 - ◆保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。
保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
※修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。
 - ◆保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。
- 4.出張による修理、点検は行っておりません。
- 5.この商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

MEMO

<商品に関するお問い合わせ先> アフターサービスについて

<商品のアフターサービスに関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ>
 ※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

【お客様相談窓口】

富士通テン(株)本社	0120-022210
北海道全域	(011)821-2221
東北、関東、甲信越地区	(03)3366-3833
中部、北陸地区	(052)581-8726
近畿、中国、四国地区	(078)682-2245
九州全域、沖縄	(092)511-3252

受付時間：午前10:00～12:00 午後1:00～5:00
 (土・日・祝日などを除く)

<商品のご購入、組み合わせ等に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ>

富士通テン東日本(株)	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8 丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 甲信越地区
北海道支社	〒003-0809 札幌市白石区菊水 9 条 2 丁目 1 番地	(011)821-2221	北海道全域
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字栗宮1851番地1	(0285)22-6410	栃木、埼玉、群馬、茨城
東北支店	〒983-0841 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号 (イワイビル)	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部(株)	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	愛知、岐阜、三重
北陸支店	〒921-8005 金沢市間明町2丁目147 (セレッソワン101)	(076)292-1685	福井、石川、富山
静岡支店	〒421-0122 静岡市用宗5丁目1番10号 (サンライズ用宗105)	(054)259-2820	静岡
富士通テン西日本(株)	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、滋賀、 奈良、和歌山
中国支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
四国支店	〒760-0034 高松市内町1番13号(日新内町ビル)	(087)822-1411	四国地区
九州支社	〒815-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092)511-3210	福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、沖縄
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町16番10号(スカイビル)	(099)250-4737	鹿児島、宮崎

富士通テン株式会社

所在地 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話 神戸 (078)671-5081(代表)

090002-26760700
0404MT (Y)